

第71回大分県民体育大会

実施要項



大会スローガン

『与えよう勇氣! 伝えよう熱気! 県南に夢と感動を!』

主催	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
後援	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会
	大分県・大分県教育委員会	会

目 次

I	大分県民体育大会開催基準要綱	1
II	大分県民体育大会表彰規程	4
III	郡市対抗競技採点方法	5
IV	第71回大分県民体育大会実施要項	9
V	第71回大分県民体育大会「大会日程と会場一覧」	10
VI	第71回大分県民体育大会総合開・閉会式式典実施要領	11
VII	雨天時の場合の措置要領	12
VIII	競技別実施要項	13
1	水 泳 競 技	13
2	陸 上 競 技	14
3	テ ニ ス 競 技	15
4	体 操 競 技	16
5	バスケットボール競技	17
6	ウエイトリフティング競技	18
7	卓 球 競 技	19
8	軟 式 野 球 競 技	20
9	相 撲 競 技	21
10	バドミントン競技	22
11	弓 道 競 技	23
12	ラグビーフットボール競技	24
13	自 転 車 競 技	25
14	ソフトテニス競技	26
15	柔 道 競 技	27
16	剣 道 競 技	28
17	山 岳 競 技	29
18	サ ッ カ ー 競 技	30
19	ソフトボール競技	31
	議 員 ソ フ ト ボ ー ル	32
20	バレーボール競技	33
21	ハンドボール競技	34
22	ライフル射撃競技	35
23	クレー射撃競技	36
24	銃 剣 道 競 技	37
25	ボウリング競技	38
26	セーリング競技	39
27	空 手 道 競 技	40
28	アーチェリー競技	41
29	ス キ ー 競 技	42
30	ゲートボール競技	43
31	ゴ ル フ 競 技	44
32	レスリング競技	45
33	カ ヌ ー 競 技	46
34	な ぎ な た 競 技	47
35	フェンシング競技	48
36	グラウンド・ゴルフ競技	49
37	綱 引 競 技	50
38	ボ ー ト 競 技	51
39	ホ ッ ケ ー 競 技	52
40	ボクシング競技	53
41	ス ケ ー ト 競 技	54
42	アイスホッケー競技	55
43	馬 術 競 技	56
IX	競技別エントリー数一覧表	57

I 大分県民体育大会開催基準要綱

1 大会の趣旨

広く県民の間にスポーツを普及・振興させ、県民の健康増進と体力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の形成に資するとともに、地方文化の高揚と地域の活性化に寄与しようとするものである。

2 主 催

大分県民体育大会（以下「大会」という）の主催者は、大分県・大分県教育委員会・公益財団法人大分県体育協会・全市町村・全市町村教育委員会並びに全郡市体育協会とする。

3 主 管

大分県民体育大会実行委員会並びに公益財団法人大分県体育協会加盟各競技団体とする。

4 大会の開催

(1) 大会は、毎年1回開催する。

(2) 大会は、ブロック持ち回り開催とし、次に示すブロックの範囲及び順番で開催する。ただし、事情により、開催が困難な場合は、別途、大分県民体育大会実行委員会に諮り決定するものとする。

ブロックの範囲及び開催順は次のとおりとする。

- ① 県 北 （中津市・豊後高田市・宇佐市）
- ② 別 杵 （別府市・杵築市・国東市・速見郡・東国東郡）
- ③ 県 南 （佐伯市・臼杵市・津久見市）
- ④ 豊 肥 （竹田市・豊後大野市）
- ⑤ 久 大 （日田市・玖珠郡）
- ⑥ 大 分 （大分市・由布市）

5 開催時期及び会期

(1) 大会の時期は、冬季競技を除き9月中を原則とする。

(2) 大会の期間は、3日以内を原則とする。

(3) 災害等により、大会の中止、又は、期日を変更する場合は主催者等で協議のうえ、決定するものとする。

6 実施競技及び会場地

(1) 実施競技は、次のとおりとする。

水泳・ボート・セーリング・陸上競技・サッカー・テニス・ホッケー・ボクシング・バレーボール・体操・バスケットボール・レスリング・ウエイトリフティング・ハンドボール・自転車・ソフトテニス・卓球・軟式野球・相撲・馬術・柔道・ソフトボール・フェンシング・バドミントン・弓道・クレール射撃・ライフル射撃・剣道・ラグビーフットボール・山岳・スケート・アイスホッケー・銃剣道・アーチェリー・ボウリング・スキー・空手道・カヌー・ゲートボール・ゴルフ・なぎなた・グラウンドゴルフ・綱引の43競技とする。

(2) 競技会場地については、ブロック内市町村の施設・宿舍・輸送等の事情により決定する。

ただし、会場地等の都合により実施が困難な競技は、他のブロックで実施することができるものとする。

7 形 式

- (1) 競技は原則として郡市対抗とする。ただし、参加チームが5郡市に満たない競技は公開競技（非採点競技）とする。
- (2) 競技の採点規定は別に定める。

8 大会の参加及び参加資格

(1) 参 加

- ア 各競技団体は、その特性に応じて、性別・年齢別等県民の各層が広く参加できるよう配慮する。
- イ 大会の参加は、冬季・本大会とも1人1競技とする。

(2) 参加資格

- ア 大分県に在住する社会人及び学生で、なおかつ、アマチュア競技者とし国籍は問わない。
- イ 年齢の基準は、当該年4月1日現在の満年齢とする。
- ウ 通信制・定時制・工業高等専門学校等の生徒で、満19歳以上の者は社会人とみなす。
- エ 郡市対抗競技に参加する競技者の帰属は、大会開催日から3ヶ月以上前の住民登録による現住所とする。
- オ 県内の大学生及び大分工業高等専門学校4・5年生は、原則として出身中学校郡市から出場するものとする。
ただし、次の者は居住郡市から出場できる。
 - (ア) 県内に在住し、県外大学に通学している者
 - (イ) 県外出身者で、県内の大学及び高等専門学校に在学する者
- カ 休暇で帰省した競技者の参加は認めない。
- キ 原則として、スポーツ安全保険等傷害保険に加入した者でなければ参加できない。

(3) 不正出場した場合の処置

ア 団体競技

試合の途中、不正が発覚した場合は、当該郡市を失格とし最下位とする。試合終了後発覚した場合は、失格で最下位となるが、当該郡市と対戦した郡市の繰上げは行わない。

イ 個人競技

競技終了（成績発表）までに発覚した場合、当該郡市を最下位とする。他郡市は、再計算により順位を決定する。

9 式 典

大会の式典は、大会第1日目の開始前に総合開会式を大会最終日の競技終了後に総合閉会式を実施する。

(1) 総合開会式

式典の順序は、おおむね次の基準による。

- | | | | |
|--------|------------|------------|-----------|
| ア 開式通告 | イ 国旗・大会旗入場 | ウ 役員・選手団入場 | エ 開会宣言 |
| オ 国旗掲揚 | カ 県旗・郡市旗掲揚 | キ あいさつ | ク 祝 辞 |
| ケ 選手宣誓 | コ 表 彰 | サ 閉式通告 | シ 役員選手団退場 |

(2) 総合閉会式

式典の順序は、おおむね次の基準による。

- | | | | |
|--------|------------|------------|-------|
| ア 開式通告 | イ 役員・選手団入場 | ウ 成績発表 | エ 表 彰 |
| オ あいさつ | カ 閉会宣言 | キ 役員・選手団退場 | |

10 表 彰

総合成績・部別成績・躍進成績については総合閉会式で、競技別成績については各競技会場で表彰する。

(1) 総合成績

総合成績第1位～第8位まで。

(2) 部別成績

前年度成績によるA(5郡市)・B(5郡市)・C(6郡市)各部別第1位～第3位まで。

(3) 躍進成績

躍進成績第1位～第3位まで。

ただし、前年度総合優勝の郡市は躍進成績の対象外とする。

(4) 競技別成績

ア 各競技ごとに、男女別・男女総合成績第1位～第3位まで。

イ 各競技の種目及び各種別内の種目の第1位～第3位まで。

11 参加申込

(1) 各郡市体育協会において、選抜又は選考された者を所定の申込書により郡市体育協会長名で申し込むものとする。

(2) 所定の申込み期限までに、申し込むものとする。

(3) 申込み終了後の選手変更は、当該年度の大会実施要項に定められた期限までとする。

12 郡市役員の編成

参加郡市役員の編成は、原則として次のとおりとする。

団長1名・副団長2名・総監督1名・総務3名・顧問5名以内とし、競技監督等については別に定める。

13 大会の経費

大会の準備及び運営に要する経費は、大分県教育委員会・公益財団法人大分県体育協会・大分県体育協会加盟各競技団体でまかなうものとする。

(附則)

昭和55年	2月15日	一部改正	
昭和58年	2月28日	一部改正	
昭和61年	1月21日	一部改正	
平成 元年	1月18日	一部改正	(大会の開催・了解事項)
平成 2年	1月22日	一部改正	(大会の規模)
平成 3年	1月29日	一部改正	(大会の規模・実施競技)
平成 4年	1月22日	一部改正	(大会の規模・参加申込方法)
平成 6年	3月 4日	全面改正	
平成13年	2月28日	一部改正	(実施競技名・選手変更期限)
平成14年	1月24日	一部改正	(主管・大会の開催・競技会場地・式典・経費)
平成17年	3月18日	一部改正	(大会の開催・競技会場地・形式・参加資格・式典・表彰)
平成18年	3月 3日	一部改正	(実施競技・式典・表彰)
平成19年	3月14日	一部改正	(表彰)
平成19年1	1月26日	一部改正	(参加資格・表彰)
平成21年	3月24日	一部改正	(参加資格)
平成22年	2月16日	一部改正	(大会の開催・競技会場地)
平成26年	2月 7日	一部改正	(参加資格)
平成27年	2月 3日	一部改正	(参加資格)

Ⅱ 大分県民体育大会表彰規程

(趣旨)

第1項

この表彰は、大分県民体育大会の健全な普及・発展に貢献し、著しい成果をあげた個人の表彰に関して必要な事項を定めるものとする。

(審査及び決定)

第2項

大分県民体育大会実行委員会事務局長は、地域体育団体からの推薦のあった個人について、第4項の定めるところにより審査し、被表彰者を決定する。

(候補者の推薦)

第3項

地域体育団体は、選考委員会の議を経て、候補者を推薦するものとする。

(推薦基準)

第4項

推薦基準は次のとおりとする。

- (1) 選手として10回出場した者。
- (2) 選手及び監督・役員として、20回・30回・40回・50回出場した者。
- (3) 出場は、連続出場でなくてもよい。
- (4) 異なる競技に出場した場合は、通算する。

(表彰)

第5項

前項に定める表彰は、大分県民体育大会の開会式において、大分県民体育大会会長が表彰する。

(改正手続)

第6項

この規程は、大分県民体育大会実行委員会の承認を得て改正することができる。

(附則)

この規程は、昭和49年2月27日から施行する。

昭和52年3月15日 一部改正

昭和58年2月28日 一部改正

昭和61年1月21日 一部改正

平成9年5月28日 一部改正

平成19年3月14日 一部改正

平成23年1月27日 一部改正

Ⅲ 郡市対抗競技採点方法

1 郡市対抗規定

郡市対抗競技に指定された競技を対象とする。

2 順位決定

競技成績により競技点を与え、その合計点の数値で順位を決定する。同点の場合は、競技優勝（競技総合）の多少により、なおかつ、決定しないときは、2位数の多少による。以下これに準ずる。以下、同条件の場合は種別成績の内容により決める。

3 部別順位

年度総合順位によるA部（1～5位）・B部（6～10位）・C部（11～16位）の各部ごとに当該大会の総合得点により部別順位を決定する。

4 躍進順位

総合得点を基準点（最近2年間の総合得点の平均）で除した躍進得点により順位を決定する。

$$\text{※ 躍進得点} = \frac{\text{総合得点}}{\text{基準点}} \times 100$$

5 競技得点

(1) 郡市対抗競技に参加した（郡市数+1）点を優勝郡市の得点とし、2位を（郡市数-1）点とする。以下、1点を減じ最下位を1点としたものを競技得点とする。

(2) トーナメントで行われる競技では、3～4位・5～8位・9～16位以下をそれぞれ共有することがあるが、この場合の得点は、その合計点を当該郡市数で除したものとす。また、2パートのトーナメントで行われる競技では、両パートの1位に1～2位得点、2位に3～4位得点、3位に5～8位得点、5位以下についても同様に得点を按分して与える。

（※小数点第二位を四捨五入）

(3) トーナメントでの不戦勝チームの採点は、つぎのとおりとする。

ア 2回戦を勝ち残った時は、前項得点方式と同様に行う。

イ 2回戦で敗退した時は、2回戦で敗退した郡市と同順位と見なし、2回戦敗退郡市で当該得点合計を除した得点とする。

(4) 3位決定戦を行う場合、両チーム棄権のときは、両チーム4位とする。

(5) 雨で中止又は途中で中止になった場合の採点方法

ア 全く試合ができなかったときは、申込チームに最下位点（1点）を与える。

イ 途中で中止のやむなきに至った場合は、それまでの得点を按分する。

ただし、この場合は同一条件にしての得点按分とする。

6 競技順位決定

(1) 競技の内容が種別（性別）に分かれている競技は、競技ごとの成績に、前記競技得点と同様な順位得点を与え、その合計の多少によって決定する。水泳、陸上競技は種目合計点による。

(2) 同点の場合、種目優勝の有無による。同条件の場合は、第2位、以下これに準ずる。

(3) 各競技順位決定のための順位得点は次のとおり。

(水泳競技)

水泳競技は、各決勝種目ごとに1位を8点、2位7点、3位6点、以下5・4・3・2・1点とし、リレー種目は1位16点・2位14点・3位12点・4位10点・以下8・6・4・2点とする。

各種目予選出場者・チームには、参加点(1点)を与える。(ただし、泳法違反なく完泳した選手・チームのみとする。)

優勝は、男女総合得点の多少により決定する。同点の場合は、リレーの成績により決定する。

(陸上競技)

陸上競技は、種目ごとに決勝8位までを1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。男子、女子の得点を合計し、その多少により競技の順位を決める。同点の場合、優勝数による。以下これに準ずる。

(テニス、バスケットボール、卓球、軟式野球、バドミントン、ソフトテニス、サッカー、ソフトボール、バレーボール、ハンドボール、銃剣道、ボウリング、空手道、ゲートボール、ゴルフ、なぎなた、フェンシング、グラウンド・ゴルフ、綱引競技)

それぞれに(参加郡市数+1)点を1位とする順位得点を与え、以下競技得点に移行する。

(体操競技)

各種目について、上位3位の得点合計により、(郡市数+1)点を1位とする順位得点を与え、同点のときは優勝数による。更に決定しないときは、2位数による。

(ウェイトリフティング競技)

種目ごとに第8位までを1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点を与え、その得点合計の多少により順位を決める。(同記録、同体重の場合は先に記録をマークした選手を上位とする。)競技獲得得点により団体順位を決定する。

(相撲・柔道・剣道競技、バレーボール)

決勝トーナメントは、そのまま競技得点に移行するが、予選リーグでの敗退郡市は、各パートでの順位にそれぞれ得点を按分し与える。

(弓道競技)

遠的・近的それぞれに(参加郡市数+1)点を1位とする順位得点を与え、その合計点による。同点のときは、近的の順位で決める。性別による種目は、6の(1)、(2)による。

郡市総合順位は、種別順位得点の合計ではなく、種目順位得点の合計で決める。

(ラグビーフットボール競技)

各パートでそれぞれ郡市順位を決定する。順位得点は5の(2)による。

(自転車競技)

各種目の順位、得点は、競技別実施要項による。

(山岳競技)

種目ごとに、郡市対抗競技採点方法の5の(1)と同じ得点を与え、それらの合計得点によって種別の郡市順位を決定する。総合順位については、種別の郡市順位

に前記同様の得点を与え、それらの合計得点によって郡市順位を決定する。
ただし、踏査競技と縦走競技の比率を1対1とする。

(ライフル射撃競技)

射撃得点の合計点の多少による。

(クレ射撃競技)

スキート・トラップの種目順位点の総合計点により順位を決定する。同点のときは国際ルール第60条により25個撃ちの最終回の団体員(スキート・トラップ)の合計成績により決定される。なお、同じ場合は、その別のラウンドへ異なる結果がでるまで続けられる。

(セーリング競技)

各種目のレースごとにオリンピックセーリング競技得点を与え、その得点合計で郡市順位を決定する。

(アーチェリー競技)

- ①団体選手9名のうち、上位3名の記録の合計により郡市の順位を決定する。合計得点と同点の場合は、記録上位者のいる郡市が上位となる。
- ②個人男子、個人女子ともに、郡市得点の採点対象とはしない。

(空手道競技)

個人種目は、1位8点、2位7点、以下6・5・4・3・2・1点とする。ただし、同順位の場合は得点を按分する。団体種目は、1位16点、2位14点、3位12点、4位10点、以下8・6・4・2点とする。個人種目と団体種目の合計により郡市順位を決定する。

(スキー競技)

男女とも参加出走選手数プラス1点を1位の得点とし、2位を出走選手数マイナス1点とする。以下1点を減じ、出走後の棄権・タイムオーバーについては最下位点(1点)を与える。不出走は0点とする。総合順位は男女の郡市得点を合計して決める。同順位の場合は得点を折半する。

(レスリング競技)

(公財)日本レスリング協会の規定による。ただし、県民体育大会のルールを適用し順位を決定する。(8チーム以下の場合は、3位決定戦を行うが、9チーム以上の場合は上記規定による。)

(カヌー競技)

参加選手数が最も多い種目の選手数を、すべての種目の1位の得点とし、2位以下は各種目の参加選手数により配分する。スタートしたがゴールできなかった選手には、1点を与える。スタートしなかった場合は0点とする。

$$\text{得点} = \text{最多参加選手種目の選手数} - \frac{(\text{最多参加種目の選手数} - 1)}{(\text{その種目の選手数} - 1)} \times (\text{順位} - 1)$$

※小数点以下2位を切り捨て、小数点1位まで算出する。

郡市対抗の順位は、各種目の得点合計により算出する。同点の場合は優勝数により決定する。

7 部 別

A部：5郡市（前回大会1～5位）

大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市

B部：5郡市（前回大会6～10位）

宇佐市、臼杵市、杵築市、由布市、速見郡

C部：6郡市（前回大会11～16位）

豊後大野市、国東市・東国東郡、玖珠郡、津久見市、竹田市、豊後高田市

8 躍進得点の算出基準点（過去2年間の総合得点の平均）

※小数点第二位以下四捨五入

郡 市 名	基準点	郡 市 名	基準点
中 津 市	275.3	由 布 市	185.3
豊 後 高 田 市	149.5	佐 伯 市	286.5
宇 佐 市	216.0	津 久 見 市	143.8
別 府 市	328.3	臼 杵 市	218.5
杵 築 市	207.8	竹 田 市	141.5
速 見 郡	171.3	豊 後 大 野 市	184.0
国東市・東国東郡	163.3	日 田 市	294.5
大 分 市	427.0	玖 珠 郡	158.3

IV 第71回大分県民体育大会実施要項

- 1 主 催
大分県・大分県教育委員会・全市町村・全市町村教育委員会・公益財団法人大分県体育協会・全郡市体育協会
- 2 主 管
大分県民体育大会実行委員会・公益財団法人大分県体育協会加盟各競技団体
- 3 後 援
大分合同新聞社・NHK大分放送局・OBS大分放送・TOSテレビ大分・OAB大分朝日放送・エフエム大分
- 4 大会スローガン 「与えよう勇氣！伝えよう熱氣！県南に夢と感動を」
- 5 会期及び実施競技・競技会場
(1)会 期 平成30年9月8日(土)～10日(月)の3日間を主日程とする。
※一部競技については、会期前に開催
(2)実 施 競 技 43競技(郡市対抗競技・公開競技)
(3)競 技 会 場 12市2町及び県外 ※詳細は別紙『大会日程と会場一覧』のとおり
- 6 総合開・閉会式
(1)総合開会式 ①日時:9月 8日(土) 9:00～ ②場所:佐伯市総合体育館
(2)総合閉会式 ①日時:9月10日(月)16:00～ ②場所:県庁舎本館正庁ホール
- 7 参 加 申 込
(1)申 込 方 法 所定の様式により、各郡市体育協会を通じて行うこととする。
【提出書類】 ①参加申込みに係る公文書 1部
(各郡市体育協会長印を押印したもの)
②競技別参加者実人数表
③郡市役員編成表
④各競技の参加申込書
※上記①に添えて、②③④の内容を収めた電子媒体の提出とする。
(2)申込期限 平成30年7月27日(金)の正午必着
(3)申 込 先 〒870-8503 大分市府内町3-10-1(大分県教育庁体育保健課内)
大分県民体育大会実行委員会事務局あて
(4)申込後の監督 所定の様式により、各郡市体育協会を通じて総監督会議までに3部提出すること。
・選手の変更 選手の追加については一切受け付けないので注意すること。
(5)参加資格 開催基準要綱及び競技別実施要項による。また、各競技における年齢基準は、平成30年4月1日現在の満年齢とする。
- 8 競技方法・表彰等
(1)競技は各競技別実施要項による。
(2)郡市対抗競技採点方法により、順位を決定し、総合1位～8位、各部別1位～3位、躍進1位～3位までを総合閉会式にて表彰する。競技別の表彰は競技毎に行う。
(3)主日程後に開催する競技は、参加郡市数に関わらず、郡市対抗得点の対象外とする。
(4)総合開会式において、10回・20回・30回・40回・50回出場者及びスローガン被採用者の表彰を行う。
- 9 宿 泊
宿泊については、郡市体育協会、競技団体で宿舎を確保する。

第71回大分県民体育大会「大会日程と会場一覧」

☆総合開・閉会式 ◎競技日 ○予備日 △準備

会場 市町村	競技等	競技日程				会場地
		9/7 (金)	9/8 (土)	9/9 (日)	9/10 (月)	
佐伯市	総合開会式	△	☆			佐伯市総合体育館
	水泳			◎		佐伯市民総合プール
	陸上競技			◎		佐伯市総合運動公園陸上競技場
	卓球	△	◎	◎		佐伯市総合体育館
	軟式野球		◎	◎	○	佐伯市総合運動公園野球場 佐伯市弥生スポーツ公園野球場
	相撲		◎	◎		佐伯市総合運動公園相撲場
	弓道	△	◎	◎		佐伯市総合運動公園弓道場
	山岳		◎	◎		元越山(幕営地:米水津中学校グラウンド・体育館)
	議員ソフトボール	△	◎	○	◎	佐伯市濃霞グラウンドA・B、佐伯市立鶴谷中学校グラウンド
	銃剣道		△	◎		弥生B&G海洋センター
	空手道		△	◎		佐伯市民武道館
	アーチェリー		△	◎		佐伯市総合運動場多目的広場
	ゲートボール		△	◎	○	佐伯市弥生スポーツ公園(多目的グラウンド・スパーク弥生)
	レスリング			◎		日本文理大学附属高等学校レスリング場
津久見市	軟式野球		◎	◎	○	津久見市民野球場
	ソフトボール(女子)	△	◎	○		1日目(県立津久見高等学校グラウンド・第二グラウンド、彦の内グラウンド)
	フェンシング		△	◎		県立津久見高等学校多目的体育館
臼杵市	セーリング		◎	◎		臼杵市佐志生海岸
	軟式野球		◎	◎	○	野津吉四六ランド野球場
	剣道		△	◎		臼杵市諏訪山体育館
	ソフトボール(男子)	△	◎	◎	○	臼杵市民球場、臼杵市総合運動公園多目的グラウンドA・B
	ソフトボール(女子)			◎	○	2日目(臼杵市総合運動公園多目的グラウンドA・B)
	なぎなた	△	◎			臼杵市柔剣道場
	グラウンド・ゴルフ		◎	○		野津吉四六ランド多目的グラウンド
	綱引	△9/1	◎9/2			臼杵市立野津中学校体育館
中津市	バレーボール	△	◎	◎		ダイハツ九州アリーナ、県立中津東高等学校体育館
	スケート	◎2/28実施済				コアやまくに
別府市	自転車(トラック)	◎9/2				別府市営別府競輪場
	サッカー	◎9/1・9/2				別府市実相寺サッカー場、野口原総合運動場、実相寺多目的グラウンド
杵築市	体操			◎		県立杵築高等学校多目的競技場体操アリーナ
国東市	ウエイトリフティング	△	◎	◎		国東ウエイトリフティング場、国東市立国東小学校体育館
大分市	総合閉会式				△☆	県庁舎本館正庁ホール
	テニス		◎	◎	○	大分スポーツ公園だいぎんテニスコート
	バスケットボール	△	◎	◎		県立総合体育館(大体育室・小体育室)、県立大分豊府高等学校体育館
	ラグビーフットボール	◎9/1・9/2・9/8・9/9				大分スポーツ公園だいぎんサッカー・ラグビー場
	ソフトテニス		◎	◎	○	大分市営駒原テニスコート、大分スポーツ公園だいぎんテニスコート
	柔道			◎		県立総合体育館(柔道場)
	ハンドボール		◎	◎		県立大分舞鶴高等学校多目的競技場
	ボウリング	△	◎	◎		OBSボウル
由布市	ボクシング		△	◎		県立鶴崎工業高校ボクシング場
	ライフル射撃		◎	◎		県立庄内屋内競技場
竹田市	ゴルフ	◎				大分サニーヒルゴルフ倶楽部
	自転車(ロード)	◎9/1				竹田市直入町SPA直入
豊後大野市	バドミントン	△	◎	◎		大原総合体育館
	クレー射撃	◎9/1・9/2				大分クレー射撃場
	カヌー		△	◎		リバーパーク犬飼特設カヌー場
	馬術			◎		三重総合グラウンド三重馬術場
日田市	ボート		△	◎		三隈川特設会場
玖珠町	ホッケー		△	◎		メルヘンの森スポーツ公園ホッケー場
九重町	スキー	◎1/27・1/28実施済				九重森林公園スキー場
福岡県	アイスホッケー	◎3/3実施済				アイスガーデン

VI 第71回大分県民体育大会総合開・閉会式式典実施要領

1 総合開会式

- (1) 趣 旨 県下最大のスポーツの祭典に参加する各郡市役員・選手団を激励するとともに、参加者全員で参加の栄光と感動を共有する。
- (2) 日 時 平成30年9月8日(土) 9:00
- (3) 会 場 佐伯市総合体育館
- (4) 参加者 大会役員、各郡市役員・卓球競技選手(男女26名程度)、被表彰者
- (5) 次 第
- 1 アトラクション 2 開式通告 3 役員・選手団入場 4 開会宣言(大会委員長)
 - 5 国旗・県旗・開催市旗儀礼 6 優勝旗返還(前年度総合優勝・各部別優勝)
 - 7 あいさつ(大会会長) 8 祝 辞(県議会議長・開催市長)
 - 9 表 彰(10回・20回・30回・40回・50回出場及びスローガン被採用者表彰)
 - 10 選手宣誓 11 閉式通告

※ 総合開会式入場順序

先導者(大会標識保持) — 各旗保持者 — 被表彰者 — 各郡市役員選手団

久大(①日田市②玖珠郡) — 大分(③大分市④由布市) — 県北(⑤豊後高田市⑥宇佐市⑦中津市)
— 別杵(⑧国東市・東国東郡⑨杵築市⑩別府市⑪速見郡) — 豊肥(⑫豊後大野市⑬竹田市)
— 県南(⑭臼杵市⑮津久見市⑯佐伯市)

2 総合閉会式

- (1) 趣 旨 大分県民体育大会の閉会式にふさわしく、厳粛を旨とし、各郡市の栄光と健闘をたたえる。
- (2) 日 時 平成30年9月10日(月) 16:00
- (3) 会 場 大分県庁舎本館正庁ホール
- (4) 参加者 大会役員、各郡市役員・選手(各郡市10名程度)
- (5) 次 第
- 1 開式通告 2 成績発表 3 表 彰(総合・部別・躍進)
 - 4 あいさつ 5 閉会宣言

Ⅶ 雨天時の場合の措置要領

- 1 総合開会式・総合閉会式については、晴雨にかかわらず実施する。
ただし、台風接近等荒天が予想される場合は、別途、各郡市体育協会へ連絡を行う。
- 2 雨天の場合、順延する種目は次のとおりで、その他は晴雨にかかわらず実施する。
テニス、軟式野球、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフは、関係者の協議により決定する。
順延方法
 - (1) 1日目、雨の場合
テニス、軟式野球、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフは、第2日目にそれぞれ順延する。
 - (2) 2日目、雨の場合
テニス、軟式野球、ソフトテニス、ソフトボールは、3日目にそれぞれ順延する。
 - (3) 3日目、雨の場合
中止する。
 - (4) 1日目、2日目雨の場合
テニス、軟式野球、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフは中止する。
 - (5) 1日目、3日目雨の場合
軟式野球は2日目・1日分のみ実施。テニス、ソフトテニス、ソフトボールは実施できるところまで。
 - (6) 2日目、3日目雨の場合
テニス、軟式野球、ソフトボールは1日目の日程のみ、ソフトテニスは中止する。

雨天時等における実施態度の連絡要領

各競技団体と実行委員会本部が実施態度について協議・決定



各競技団体が各郡市の競技責任者へ連絡



各郡市の競技責任者は当該郡市体育協会事務局へ連絡

VIII 競技別実施要項

1 水泳競技

1 日 時 平成30年9月9日(日)

開 場 8:00
 監督会議 9:00 (佐伯市民総合プール)
 開 始 式 9:30 //
 競技時間 9:45～15:00
 閉 会 式 15:10～15:20

2 会 場 佐伯市民総合プール(25m 7レーン)

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 ()内は参加できる選手人数

性別	種目 年齢区分	自由形	背泳ぎ	平泳ぎ	バタフライ	個人 メドレー	リレー	メドレーリレー
		男	30 歳 未 満 100m (2) 50m (2)	100m (2)	100m (2)	100m (2)	100m (2)	100m (2)
	30～40 歳 未 満	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—	200m 年齢区分なし	200m 年齢区分 30歳以上
	40～50 歳 未 満	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—		
	50～60 歳 未 満	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—		
	60 歳 以 上	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—		
女	30 歳 未 満	50m (2)	50m (2)	50m (2)	50m (2)	—	200m 年齢区分なし	200m 年齢区分なし
	30～40 歳 未 満	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—		
	40 歳 以 上	50m (1)	50m (1)	50m (1)	50m (1)	—		

(3) 競技方法

- ① 競技順序はプログラムに記載する。
- ② 競技は、タイムレースで行う。
- ③ 各種目出場者・チームには、参加点(1点)を与える。(ただし、泳法違反なく完泳した選手・チームのみとする。)
- ④ 種目ごとに、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、……8位1点とし、リレー種目は1位16点、2位14点、3位12点、4位10点、……8位2点とする。
- ⑤ 優勝は男女総合点の多少により決定する。同点の場合はリレーの成績により決定する。

(4) 参加方法

- ① 各郡市とも、男子チーム(監督1名、選手24名以内)・女子チーム(監督1名、選手16名以内)とする。(男子選手24名・女子選手16名の中にリレーメンバーも含まれる。)
- ② 30歳未満の男女の部は、各種目とも2名以内、一人2種目以内(ただし、リレーを除く。)を申し込むことができる。
- ③ 男子30歳～40歳未満、40歳～50歳未満、50歳～60歳未満、60歳以上及び女子30歳～40歳未満、40歳以上の部は、各種目とも1名、一人1種目(ただし、リレーを除く。)を申し込むことができる。
- ④ 年齢区分の該当者は、その年齢区分以外の種目に出場することはできない。ただし、男子200mメドレーリレーは30歳以上で構成する。200mメドレーリレー、女子200mメドレーリレー、男女200mリレーは年齢区分で規制しない。
- ⑤ 県内の大学生及び大分工業高等専門学校4・5年生は、原則として出身中学校郡市から出場するものとする。ただし、次の者は居住郡市から出場できる。
 - a 県内に在住し、県外大学に通学している者
 - b 県外出身者で、県内の大学及び高等専門学校に在学する者
 - c 通信制・定時制については、在住地より出場できる。
- ⑥ 年齢は2018年4月1日現在の満年齢とする。
- ⑦ 参加申込みについては、(公財)日本水泳連盟Webエントリーにて申し込むこと。

(5) 表 彰

- ① 決勝3位までに入賞した者(郡市)を表彰する。
- ② 個人、リレーの表彰はレース後ただちに行い、総合男女・男子優勝・女子優勝の表彰は、閉会式で行う。

2 陸上競技

1 日 時 平成30年 9月9日(日)
 審判会議 8:30
 監督会議 9:00
 競技開始 10:00
 表彰式 16:00

2 会 場 佐伯市総合運動公園陸上競技場

3 実施要領

(1) 種 目 郡市対抗

(2) 種 目

男子	30 歳 未 満	100m、1500m
	30 ～ 40 歳 未 満	100m、1500m
	40 歳 未 満	砲丸投(7.26kg)
	40 ～ 50 歳 未 満	100m、1500m
	40 歳 以 上	砲丸投(6.00kg)
	50 歳 以 上	100m、1500m
	共 通	400m、5000m、4×100mR、10000mチームレース(2名)、走高跳、走幅跳
市町村議員・教育委員		100m、4×100mR ※男女問わない
女子	30 歳 未 満	100m、砲丸投(4.00kg)
	30 歳 以 上	100m、砲丸投(4.00kg)
	共 通	200m、3000m、4×100mR、走高跳、走幅跳

(3) 競技方法

- ① トラック種目は、すべてタイムレースで行い、8名が決勝へ進出する。
- ② 順位は、総合得点により決定する。ただし、同点の場合は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則による。
- ③ 表彰は、総合・男子・女子・個人とも、3位までとする。
- ④ 10000mチームレースは、3名申込み中2名が出場し、2名の着順合計の少ないチームから順位を決定する。
- ⑤ 議員・教委の4×100mリレーは、必ず45歳以上を2名以上入れて編成すること。
- ⑥ 砲丸投は、次のとおりとする。
 ア 男子 A 40歳未満7.26kg B 40歳以上6.00kg
 イ 女子 30歳未満・30歳以上とも4.00kg
- ⑦ リレー競技は、同一ユニフォームを着用して参加すること。

4 出場方法

- (1) 各郡市1種目1名、1人1種目とする。ただし、10000mチームレースは、3名の申込みとすること。
 なお、リレー・チームレースは兼ねてもよい。
- (2) 各郡市の選手団の編成は、次のとおりとする。
 総監督1名、男子監督1名、女子監督1名、議員・教委・監督1名、男子選手19名以内、議員・教委選手6名以内、女子選手10名以内
- (3) ナンバーカード(郡市番号)は、胸と背部につけること。ただし、跳躍種目はいずれか1枚でもよい。
- (4) 競技場は全天候舗装である。したがって、スパイクのピンは、トラック、フィールドとも9mm以下とする。

3 テニス競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日) 予備日9月10日(月)
監督会議 9月8日(土) 9:00
大分スポーツ公園だいぎんテニスコート

競技開始 9月8日(土) 9:30
大分スポーツ公園だいぎんテニスコート

9月9日(日) 9:00
大分スポーツ公園だいぎんテニスコート
9月10日(月) (予備日)

2 会 場 大分スポーツ公園だいぎんテニスコート(男子・女子)

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

- ① 男子 シングルス2・ダブルス3
- ② 女子 シングルス1・ダブルス2

(3) 競技方法

- ① 各郡市から男子1チーム、女子1チームとし、トーナメントで行う。(1R敗者による敗者戦あり)
- ② 試合は、男子一般2シングルス・1ダブルス、45歳以上1ダブルス、55歳以上1ダブルス、女子は1シングルス・2ダブルスとし、それぞれ1セットマッチ6ゲームオールタイムブレーク、ノーアドバンテージスコアリング方式で行う。(天候等やむを得ない事情による変更有り)
- ③ 組み合わせは、前年度1位及び2位をシードとし、その他は抽選とする。
- ④ シングルスの出場順位は、各郡市の自由とする。

(4) 参加方法

- ① 男子チームの編成は、監督1名、一般選手4名、45歳以上選手2名、55歳以上選手2名、補欠2名、計11名以内。
女子チームは、監督1名、一般選手5名、補欠2名、計8名以内。
- ② 監督は、選手として出場できるものとする。
- ③ シングルスとダブルスの重複出場はできない。
- ④ 最小限、男子は3ポイント、女子は2ポイントの人員編成でも参加を認める。
- ⑤ 年齢上位の者は、下位種目へ自由に参加できる。ただし、年齢上位の者が一般選手として登録した場合は、年齢上位の種目には出場できない。

(5) そ の 他

- ① 使用球は、『ダンロップ・フォート』とし、試合前対戦チーム相互に調整使用する。
- ② 審判は、セルフジャッジとする。

4 体操競技

1 日 時	平成30年9月9日(日)
	セッティング 8:30
	監督会議 9:30
	審判会議 10:00
	開始式 10:30
	競 技 11:00
	閉会式 15:30

2 会 場 県立杵築高等学校(多目的競技場体操アリーナ)

3 実施要領

(1) 種 別 ① 男子:郡市対抗 ② 男女:種目別選手権

(2) 競技方法

- ① 郡市対抗種目は、ゆか、跳馬、鉄棒の3種目とし、大分県体操協会制定の規定演技とする。ただし、演技できる種目のみの参加でもよい。
- ② オープン競技としてゆか、跳馬、鉄棒を実施する。ただし、各郡市の団体出場者以外の選手によって行い希望種目のみの参加でもよい。
- ③ 男子の跳馬の高さは、125cmとする。
- ④ 演技の復行については、跳馬のみ1回の復行を認める。ただし、この場合の1回目の演技は採点しない。
- ⑤ 種目別選手権として男子のあん馬、つり輪、平行棒と女子の4種目の自由演技を行う。

(3) 参加方法

- ① 各郡市1チームとし、4名で編成する。(ベスト3)
補欠は1名とし、補欠のオープンとしての参加は認める。
- ② チーム編成のできない郡市については1名でも郡市対抗として参加できる。

(4) 申込方法

- ① 各種別とも所定の申込用紙で、郡市体育協会を通じて7月27日(金)までに、県事務局あてに申し込むものとする。
- ② オープン競技又は種目別選手権に出場する者は、参加申込書に出場種目を記入すること。
- ③ 申込用紙に背番号を記入すること。

(5) その他

- ① 選手は下記の背番号を各郡市で準備して必ず付けること。

佐伯市	1～10	別府市	11～20	大分市	21～30
宇佐市	31～40	速見郡	41～50	国東市・東国東郡	51～60
津久見市	61～70	杵築市	71～80	豊後大野市	81～90

(寸法:縦9cm、横12cm 字色:男子は黒・女子は赤)
- ② 上記以外の郡市より出場選手があった場合は別に考慮する。
- ③ 各郡市で傷害保険の加入をしていない選手については個人の責任によるものとする。
- ④ 全ての種別において大分県体操協会の登録会員のみが出場資格を有するものとする。

5 バスケットボール競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)

開 始 式 9月8日(土) 9:00

県立総合体育館

【当会場で第1試合に該当するチームは原則参加】

競 技 開 始 9月8日(土) 9:00

9月9日(日) 9:30

2 会 場 県立総合体育館 9月8日(土)・9日(日)

県立大分豊府高等学校体育館 9月8日(土)

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子郡市対抗

(2) 競技方法

- ① 現行の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則による。
- ② トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。

(3) 参加方法

- ① チームは、監督1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、選手12名、計15名以内により編成する。
- ② ユニフォームは濃淡各1着を準備し、胸部に郡市名を明記すること。なお、番号については0～99番までとする。

(4) そ の 他

- ① 本年度の組み合わせは、昨年度の上位2チームをシードとし、他はフリー抽選とする。
- ② 審判について、各チームより最低1名帯同審判を出すよう義務付ける。また、審判はJBA公認ライセンスのC級以上の資格を有する者とする。
- ③ 第1試合のテーブル・オフィシャルズについては、第3試合に該当するチームが当たること。
- ④ 第2試合以降は、前の試合で負けたチームがオフィシャルをすること。
- ⑤ 2日目の第1試合(女子準決勝)は、次の試合に出場するチームがオフィシャルを行うこと。

6 ウェイトリフティング競技

- 1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)
監督会議 9月8日(土)11:00
開始式 9月8日(土)11:15
競技開始 9月8日(土)12:00
9月9日(日)10:00
検 量 9月8日(土)10:00～11:00
(56kg級、62kg級、69kg級)
9月9日(日)8:00～9:00
(77kg級、85kg級、94kg級、105kg級、+105kg級)

- 2 会 場 国東ウェイトリフティング場
国東市立国東小学校体育館

3 実施要領

- (1) 種 別
男子郡市対抗
- (2) 種 目
① スナッチ
② クリーン&ジャーク
- (3) 競技方法
平成30年度一般社団法人日本ウェイトリフティング競技規則による。
- (4) 参加方法
ジュニア・シニア1階級2名以内、マスターズ2名以内、計10名以内とする。
ただし、マスターズ(40歳以上の者)が2名を越える場合には、シニアとして参加できる。
- (5) 競技得点
スナッチC&ジャーク各種目、各階級に以下の得点を与える。
1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点
(同記録、の場合は先に記録をマークした選手を上位とする)
- (6) 階 級
ジュニア・シニア・マスターズ
(56kg級、62kg級、69kg級、77kg級、85kg級、94kg級、105kg級、+105kg級)
- (7) 団体順位
競技獲得得点により団体順位を決定する。同点の場合は上位入賞者数の多い郡市を上位とし、入賞者数においても同数の場合は成功率が高い郡市を上位とする。それでも同位の場合は抽選にて順位を決定する。
- (8) 審 判 員
各市郡選手団に1名以上の審判員(日本協会公認3級審判員以上)を帯同する。
(審判員数については、事務局にて調整を行う)
- (9) 成績発表・表彰式
2日目全競技終了後(15:15予定)、団体・個人の成績発表・表彰式を行う。
- (10) その他
申込み以後、階級変更はできない。また、検量は何回測定してもよいが規定の体重でないときには失格になる。
参加人数により日程の変更あり。

7 卓球競技

- 1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)
- 監督会議 9月8日(土) 11:00 佐伯市総合体育館
- 開 始 式 " 11:40 佐伯市総合体育館
-
- 競技開始 1日目 9月8日(土) 12:00 予選リーグ
- 2日目 9月9日(日) 9:00 決勝トーナメント
- 閉 会 式 9月9日(日) 16:00 予定

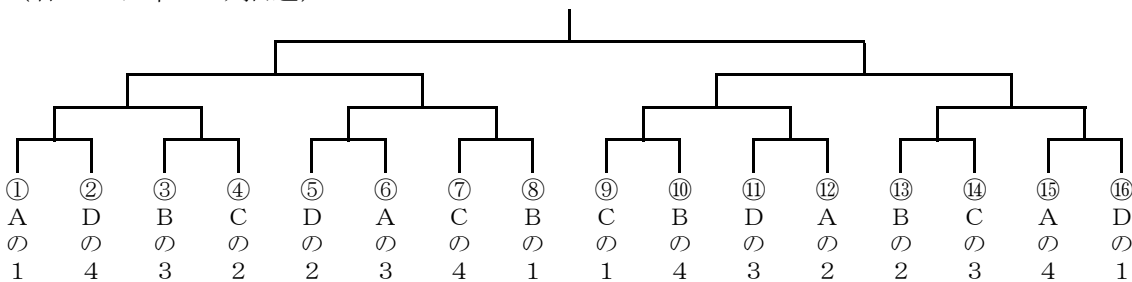
2 会 場 佐伯市総合体育館

3 実施要領

(1) 種 別 男女別郡市対抗

(2) 競技方法

- ① 競技は、現行の(公財)日本卓球協会の日本卓球ルールにより行う。
(公式11本5ゲームズマッチ)
- ② 競技は、大会第1日目に4パートに分けて予選リーグ戦を行い、第2日目は予選パートの順位によって予め定められた組合せで決勝トーナメントを行い、最終順位の決定をする。
(各パート1位のみ抽選)



③ 競技種目

男子種目	①複 ②複(合わせて100才以上) ③一般単 ④セミシニア(40才以上) ⑤シニア(50才以上) ⑥ベテラン(60才以上) ⑦一般単
女子種目	①複 ②複(合わせて90才以上) ③一般単 ④セミシニア(30才以上) ⑤シニア(40才以上) ⑥ベテラン(50才以上) ⑦一般単

- ④ 試合は男女とも予選リーグは全試合有効方式とし、決勝トーナメントは4点先取方式とする。
- ⑤ 男女とも、複は単と1回のみ重複可(複複の重複不可)また、大学生は各チーム1名のみとする。

(3) 参加方法

- ① 男子の選手については一般男子2～8名、他はそれぞれ1～3名の合計12名以内、及び監督1名の合計13名以内で編成する。
- ② 女子の選手については一般女子2～8名、他はそれぞれ1～3名の合計12名以内、及び監督1名の合計13名以内で編成する。

(4) その他

- ① セミシニア、シニア、ベテランの年齢は、平成30年4月1日現在の満年齢とする。
- ② 選手は400cm²以上600cm²以下の大きさで、上に氏名、下に郡市名を記入したゼッケンを背中に着用しなければゲームに出場できない。
- ③ 使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック球40mm(白球)とする。
- ④ 参加資格については、県民体育大会開催基準要綱による。

8 軟式野球競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日) 9月10日(月)予備日

競技開始

9月8日(土) 9:00 (4会場)

佐伯市総合運動公園野球場

佐伯市弥生スポーツ公園野球場

津久見市民球場

臼杵市野津吉四六ランド野球場

9月9日(日) 9:00 (1会場)

佐伯市総合運動公園野球場

2 会 場 佐伯市総合運動公園野球場
佐伯市弥生スポーツ公園野球場
津久見市民球場
臼杵市野津吉四六ランド野球場

3 実施要領

(1) 種 別 男子郡市対抗

(2) 競技方法

① 競技はトーナメント方式による。

② ゲームは7回戦とする。

③ コールドゲームは、5回以降7点差とする。

④ 延長戦は、判定戦を採用する。

⑤ 判定戦は、無死満塁で継続打者からとする。なお、一度退いた選手は出場できない。得点は、正式回数と判定戦の総合計とする。

⑥ 使用球は、ナガセMボールとする。

(3) 参加方法

① 登録人員は、監督を含め20名以内とし、50歳以上1名、40歳以上3名、30歳以上3名、30歳未満2名を常時出場させ、投手は35歳以上とする。

② 年齢は、平成30年4月1日の満年齢とし、高年齢者が低年齢者の代行はできるが、その逆はできない。

③ 背番号は50歳代は50代ナンバー、40歳代は40代ナンバー、30歳代は30代ナンバー、30歳未満は20代(以下の)ナンバーをつけること。年代別背番号は、重複しないこと。(同一チームに同一番号はあってはならない。)なお、投手の背番号は35番以上のナンバーをつけること。

④ 打者・走者・ランナーコーチには、ヘルメットの着用を義務づける。

⑤ 捕手には、プロテクター、レガード、ヘルメットの着用を義務づける。

(4) そ の 他

天候不良による予定変更等の連絡は、開始会場で行う。

9 相撲競技

1 日 時	平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)
	監督会議 9月8日(土) 12:00～
	開始式 13:00～
	団体予選リーグ1～2回戦 13:30～
	Cクラス個人決勝トーナメント 14:40～
	Aクラス個人決勝トーナメント 15:30～
	団体予選リーグ3回戦 9月9日(日) 9:30～
	Bクラス個人決勝トーナメント 10:20～
	団体決勝トーナメント 11:30～

2 会 場 佐伯市総合運動公園相撲場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 団体戦 郡市対抗
- ② 個人戦 Aクラス・Bクラス・Cクラス

(2) 競技方法

- ① 郡市対抗競技の団体戦は、予選3回戦を行い勝数・得点をもって順位を決定する。さらに上位8チームによる決勝トーナメントを行い、総合順位を決定する。予選において勝数・得点と同じ場合には、同点決勝戦を行い選出する。(出場チームが奇数の場合には、最小得点チームを選び対戦する。)団体決勝トーナメントからは、対戦ごとにオーダーの組み替えを行ってもよいこととする。オーダー組み替えは、必ず競技委員長に届け出ること。
- ② 個人戦は、Aクラス、Bクラス、Cクラスに分けてそれぞれトーナメントを行う。Aクラスとは大学卒業又は国体等に参加経験のある者で40歳未満とする。Bクラスについては、前述に該当しない者で30歳未満、Cクラスは、A、Bクラスの参加制限に該当しない者。

(3) 参加方法

- ① 参加は、選手5名、交代4名、監督1名の計10名とする。先発5名の内、Aクラス出場選手は、2名以内とする。
Aクラスとは、大学卒業又は国体等に参加経験のある者で40歳未満とする。Bクラスについては、前述に該当しない者で30歳未満、Cクラスは、A、Bクラスの参加制限に該当しない者。
- ② 個人戦は、参加選手全員によるA、B、Cクラスのトーナメントで行うことを原則とし、参加クラスを備考欄に記入すること。また、選手が出場しない場合も、その旨申込書の備考欄に記載すること。
※個人戦については、市町村合併の関係で、団体戦に出場しなくても出場を認める。(オープン参加)ただし、傷害保険等は各個人で加入すること。(もし加入しなくても、一切の責任を負わない。)旅費・宿泊費等は個人負担とする。

(4) その 他

- ① 審判判定は、日本相撲連盟審判規定を適用する。
- ② 選手資格については、日本相撲連盟競技会規程を適用する。
- ③ 雨天の場合は、競技団体から中止の通知がない限り実施する。
- ④ 参加選手は郡市名のゼッケンを必ず付けること。
- ⑤ 段位取得者は段位章を必ず付けること。
- ⑥ 個人戦の三位決定戦は、実施しない。

10 バドミントン競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)

監督会議 9月8日(土) 9:30 大原総合体育館

開始式 9月8日(土) 10:00

競技開始 9月8日(土) 10:30

9月9日(日) 10:00

2 会 場 豊後大野市大原総合体育館

3 実施要領

(1) 種 別 男女混成郡市対抗

(2) 競技方法

① 競技は、郡市対抗とし、抽選によるトーナメント方式で優勝を決定する。

3位決定戦は行わない。ただし、一回戦で敗退した郡市同士の9位・13位決定戦を初日に行う。

② 種目は、一般男子複、一般女子複、40歳以上男子複、40歳以上女子複、混合複、一般女子単、一般男子単の7種目とし、この順序でゲームを行う。

③ 競技規則は本年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程並びに同公認審判員規程による。

④ 初回戦のみ7種目をすべて行い、以降は4点先取とする。

⑤ 選手・監督は、背面に郡市名入りのゼッケンを必ず付けること。

(3) 参加方法

① チームは監督1名と、選手16名以内で編成する。

② 出場者は、1人一種目とする。一般男女複、混合複、男女単については年齢制限を設けない。

③ 監督の選手としての出場は認めない。

(4) 使用用器具

(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び本年度第1種合格水鳥球とし、すべての郡市の持ち寄りとする。

(5) 審判員

各郡市選手団に1名以上の(公財)日本バドミントン協会公認審判員の資格取得者を含むこと、または、選手団に帯同すること。(参加申込書に必ず記載する。)

1 1 弓道競技

1 日 時	平成30年	9月8日(土)・9日(日)		
	監督会議		9月8日(土)	9:30
	開始式		〃	10:00
	競技開始	(遠的競技)	9月8日(土)	10:30
		(近的競技)	9月9日(日)	8:30

2 会 場 佐伯市総合運動公園弓道場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

- ① 男子遠的 ② 女子遠的 ③ 男子近的 ④ 女子近的

(3) 競技方法

① 審判規定は、全日本弓道連盟競技規則による。ただし、補欠選手との交替を1度目から認め、それでもなお1度目の立から男子4名、女子2名になった場合も団体とする。

② 各競技とも、男子5名、女子3名をもってチームを編成する。

③ 遠的競技(射距離60m、100cm五色的の点数制)

ア 予 選 (各自4矢2立)

1郡市、男子は40射、女子は24射の点数により上位8郡市を選出する。8郡市目が複数の場合は、各自1射の競射により8郡市目を決定する。

イ 決 勝 (各自1手によるトーナメント)

男子10射、女子6射の点数によるトーナメント。各自1手による3位決定戦を行う。

④ 近的競技(射距離28m、36cm霞的の的中制)

ア 予 選 (各自4矢2立)

1郡市、男子は40射、女子は24射の的中数により上位8郡市を選出する。8郡市目が複数の場合は、各自1射の競射により8郡市目を決定する。

イ 決 勝 (各自4矢によるトーナメント)

男子20射、女子12射の的中数によるトーナメント。各自4矢による3位決定戦を行う。

(4) 参加方法

① 出場者は、大分県弓道連盟会員であること。

② 男女とも近的・遠的にそれぞれ選手を登録できる。(同一選手でなくてもよい)

③ 各郡市は、男女それぞれ1名の監督及び近的・遠的にそれぞれ1名の補欠を認める。ただし、選手と補欠の交代は次による。

ア 交替による立順の変更は認めない。

イ 交替により退場した者は再び出場できない。

(5) その他

① 郡市総合順位は種別順位得点ではなく、種目順位得点の合計で決める。

② 郡市総合得点＝男子遠的＋男子近的＋女子遠的＋女子近的(各種目の順位得点)

③ 選手変更届提出時は、立順の変更は認めない。

12 ラグビーフットボール競技

1 日 時	平成30年 9月1日(土)・2日(日)、8日(土)・9日(日)		
競技開始	9月1日(土)	14:00	Aパート1回戦
	9月2日(日)	14:00	Bパート1回戦
	9月8日(土)	14:00	A・Bパート準決勝戦
	9月9日(日)	10:30	Aパート決勝戦
		11:30	Bパート決勝戦

2 会 場 大分スポーツ公園だいぎんサッカー・ラグビー場

3 実施要領

(1) 種 別

男子郡市対抗

(2) 競技方法

- ① A、Bパートに分けてトーナメントを行う。(優勝2チーム)
- ② 全試合25分ハーフで行う。(ランニングタイム)
- ③ 同点の場合は、次の規定により次回出場権を決定する。

ア トライ数

イ トライ後のゴール数

ウ 抽選

※ ただし、決勝戦は引き分けとし、両チーム優勝とする。

- ④ 平成30年度日本ラグビーフットボール協会競技規則により実施する。

(3) 参加方法

各チーム監督1名、選手25名(26名登録)で編成する。

※ 監督は、選手を兼ねることができる。

(4) 備 考

- ① 本年度の組み合わせは次の通りとする。
昨年度のAパート優勝チームをBパートに、Bパート優勝チームをAパートにシードする。
他はフリー抽選とする。
- ② 試合開始30分前にメンバー表を本部に提出のこと。
- ③ 登録した選手の変更は県体総監督会議までとする。

13 自転車競技

1 日 時	平成30年 9月1日(土)ロード競技	9月2日(日)トラック競技	
	監督会議	9月2日(日) 9:00~9:20	別府競輪場審判控室
	トラック指定練習	9月2日(日) 8:00~9:00	別府競輪場走路
	開始式	9月2日(日) 9:30~9:40	別府競輪場走路
	ロード試走	9月1日(土) 8:00~8:15	
	ロード競技受付	9月1日(土) 8:00~8:15	
	競技開始(ロード)	9月1日(土) 8:30	
	(トラック)	9月2日(日) 10:00	

- 2 会場 トラック競技：別府市亀川東「別府市営別府競輪場」
ロード競技：竹田市直入町上田北「SPA直入」

3 実施要領

- (1) 種別 男女郡市対抗

- (2) 種目

①郡市対抗競技(17種目)

ア 1km速度競走(1名)	イ ポイントレース(1名)
ウ 400mタイムトライアル(40歳以上)(1名)	エ 400mタイムトライアル(50歳以上)(1名)
オ 400mタイムトライアル(60歳以上)(1名)	カ 1kmタイムトライアル(30歳以上)(1名)
キ ケイリン(1名)	ク スクラッチ(1名)
ケ 2kmチーム・パーシュート	コ チーム・スプリント
サ 個人ロードレース(共通)(4名)	シ 個人ロードレース(40歳以上)(2名)
ス 個人ロードレース(50歳以上)(2名)	セ 個人ロードレース(60歳以上)(1名)
ソ 女子400mタイムトライアル(1名)	タ 女子スクラッチ(1名)
チ 女子個人ロードレース(2名)	

- (3) 競技方法

- ① 日本自転車競技連盟競技規則及び監督会議の申し合わせ事項により実施する。
- ② 得点はトラック・ロードとも出走者全員(ただし団体競技はチーム)に1点を与える。入賞は各種目8位までとし、1位8点、2位7点、・・・8位1点を与える。ロードの完走者全員に1点を与える。

- (4) 参加方法

- ① 参加各郡市は、監督1名、男子選手12名以内、女子選手2名以内、補欠3名以内とする。ただし、選手または補欠が監督を兼任することができる。(エントリー数最大18名)
- ② トラック競技の個人種目は各郡市1名1種目のみ、団体種目も1名1種目のみとする。
- ③ チーム・パーシュート及びチーム・スプリントの出場者は、正選手及び補欠によって編成し、競技開始15分前までに申告すること。
- ④ チーム・スプリントの出走者の内1名は男子40歳以上、又は女子とする。
- ⑤ ロードレースの出場選手は出走前に申告すること。
- ⑥ 申込後に変更がある場合は、総監督会議(全競技の)までに、変更申込をすること。これ以降の変更は認めない。また補欠の起用は、原則として当日の受付時までとする。
- ⑦ 監督は日本自転車競技連盟公認審判員有資格者が望ましい。
- ⑧ 選手は日本自転車競技連盟登録競技者(臨時登録者を含む)が望ましい。

- (5) その他

- ① 使用する自転車は、日本自転車競技連盟競技規則による。ただし、タイムトライアル、チーム・パーシュート、チーム・スプリントについてはロードレーサーでもよい。女子スクラッチについてはロードレーサーのみとする。
- ② ロードレースは施設使用料、コース設営費として、選手1名につき3,000円の負担金を徴収する。
- ③ 参加選手は、JCFまたはJKA公認のヘルメットを使用すること。
- ④ 競輪場では指定の駐車場(第10駐車場)に駐車すること。競輪宿舎前の駐車場で荷物の積み降ろし後、車を移動すること。
- ⑤ 当日は場外開催中のため、一般席への入場は9時30分からになります。
- ⑥ 参加郡市の控え席は、北門より入り、第2コーナー外側の第4スタンドを御利用ください。

14 ソフトテニス競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9日(日)
監督会議 9月8日(土) 9:00
開 始 式 9月8日(土) 9:30
競技開始 9月8日(土) 10:00
9月9日(日) 9:00
(予備日) 9月10日(月)

2 会 場 大分市宮駄原テニスコート
大分スポーツ公園だいぎんテニスコート

3 実施要領

(1) 種 別 男女郡市対抗

(2) 競技方法

- ① 郡市対抗とする。
- ② 編成は男子フリー3ペア、35歳以上1ペア、45歳以上1ペア、55歳以上1ペア、60歳以上1ペア、女子フリー2ペアの計9ペアの点取り試合とする。
- ③ 競技は第1日に5パート(A～Eパート)による予選リーグ戦を行い、各パートの最下位郡市を除く11郡市を選出する。各パートは3郡市または4郡市とする。
第2日は11郡市による決勝トーナメント戦を行う。
- ④ 3位決定戦は行わない。
- ⑤ 予選リーグの組合せは、前年度1位をAパート、2位をEパートに入れ、他はフリー抽選とする。
- ⑥ 競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟ハンドブックによる。マッチは全て7ゲームとする。

(3) 参加方法

- ① 出場郡市は男子フリー3ペア、35歳以上1ペア、45歳以上1ペア、55歳以上1ペア、60歳以上1ペア、女子フリー2ペアの計9ペアによってチームを編成し、他に監督1名と補欠を含み25名以内とする。
- ② 監督は、選手として出場できるものとする。
- ③ 男子フリー、女子フリー以外は男女を問わない。
- ④ 選手変更は、総監督会議までとする。
- ⑤ 年齢は平成30年4月1日現在とする。

15 柔道競技

1 日 時 平成30年 9月9日(日)
女子計量 9:00 審判・監督会議 9:30 開始式 10:00 競技開始 10:30

2 会 場 県立総合体育館柔道場

3 実施要領

(1) 種 別 男女都市対抗

(2) 競技方法

① 競技は3又は2チームにより予選リーグを行い、予選リーグ3チームのパートから上位1チーム、2チームのパートより上位1チームを決勝トーナメント進出チームとして選出する。

② 選出されたチームを抽選により組み合わせ、決勝トーナメントで順位を決める。

(3) 参加方法

① 出場者は、大分県柔道連盟を通して、全日本柔道連盟に登録していること。

② 監督は全日本柔道連盟の公認指導者資格を有する者とする。

③ 男子チーム編成は、監督1名、選手5名(先鋒から初段、次鋒は三段、中堅は参段、副将及び大将は四段以上2名の出場順位とする)、補欠3名の計9名とする。女子チーム編成は監督1名、選手3名(先鋒から体重の少ない順で配列)、補欠2名の6名とする。各配列における段位は問わない。

④ 男子において所定の階級に該当者がない場合、下位の階級者をもってあてることができる。女子において出場選手が2名だった場合は、先鋒の位置を空けることとする。

⑤ 原則としてオーダーの変更は認めないが、負傷又は止むを得ない理由により、選手(補欠)に変更が生じた時は、総監督会議までに所定の用紙に記入のうえ、2部県体事務局に申し出ること。ただし、選手(補欠)の変更は特別の事情のない限り認めない。

(4) 競技規定

① 審判は、国際柔道連盟試合審判規定(2018年最新)による。

② 優勢勝ちの判定基準は、「技あり」または「指導2差」以上とする。

③ 判定の優劣は「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」とする。

④ 男子の試合時間は、予選リーグ3分、決勝トーナメント4分とする。女子の試合時間は全て3分とする。

⑤ 都市対抗及び予選リーグの勝敗決定方法は以下のとおりとする。

ア 勝者数(「一本勝ち」、「優勢勝ち」等を問わない)の多いチームを勝ちとする。

イ 勝者数が同じ場合は、「一本勝ち」の多い方を勝ちとする。この場合、「不戦勝ち」、「棄権勝ち」、「負傷勝ち」、「反則勝ち」、「失格勝ち」等も、「一本勝ち」と同等に扱う。

ウ 前項における「一本勝ち」も同数の場合は、「優勢勝ち」のうち「技あり」次に、「指導差2以上」による「優勢勝ち」の多い方を勝ちとする。

エ 予選リーグにおいて内容が同等の場合は、その試合を引き分けとする。予選リーグにおけるチーム間の勝敗は、前項のA項、イ項、ウ項に基づき、「①チーム勝敗」「②勝者数」「③総得点」の順で決定するが、同率同点の場合は、自由代表者1名によって勝敗を決する。代表戦の本戦において勝敗が決しない場合は、時間無制限のゴールデンスコアにおいて勝敗を決する。なお、予選リーグにおいては、「一本勝ち」「技有勝ち」「僅差勝ち」にそれぞれ、「10点」「7点」「5点」の得点を与える。

オ 決勝トーナメントにおいて内容が同等の場合は、引き分けの下位から再試合を順に行い勝敗を決するものとするが、なお勝敗が決しない場合は、自由代表者1名によって勝敗を決する。代表戦の本戦において勝敗が決しない場合は、時間無制限のゴールデンスコアにおいて勝敗を決する。

⑥ 補欠の交替はチーム編成の順に従うものとするが、交替者の位置に補充すること。(上記(3)参加方法の③を参照)

⑦ ゼッケンについて

※選手は、郡市名・姓の入ったゼッケンを次の基準により必ず縫い付けること。

ア ゼッケンを付けていない者は失格とする。

イ 布地は白色(晒・太綾)

ウ サイズは、横30cm~35cm・縦25cm~30cm

エ 名字(姓)は、上側2/3、郡市名下側1/3

オ 書体は、太いゴシック(又は楷書)、男子黒色・女子赤色

カ 縫い付け場所は、上衣の後襟から10cm下部の所で対角線にも強い糸で縫い付けをする。

(下図参照)

図1

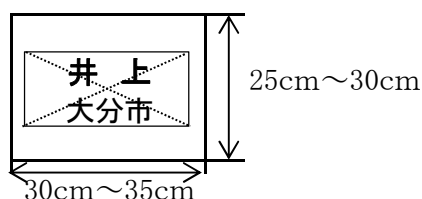
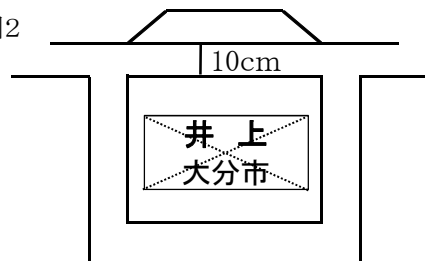


図2



⑧ 柔道着のサイズは、国際柔道連盟に準ずるサイズであること。(公認マークの有無は問わない)

⑨ 女子の黒帯は、白線入りの黒帯でも参加を認める。

(5) その他

① 選手の有する段位に虚偽の申請があった場合、その郡市は失格とする。

② 女子の軽量は、当日の9時から行う。

③ 各郡市帯同審判員を1名派遣する。男子・女子のみ参加する郡市についても、1名を派遣する。(派遣が困難な場合は大会事務局まで連絡すること)

16 剣道競技

1 日 時	平成30年 9月9日(日)		
	審判会議 9月9日(日)	8:30	
	監督会議 9月9日(日)	8:40	
	開 始 式 9月9日(日)	9:00	
	競技開始 9月9日(日)	9:30	

2 会 場 臼杵市諏訪山体育館

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 競技方法

- ① 前年度の1位から4位をシードし、他はオープン抽選を行い、4パートに編成する。
- ② 各パートごとに予選リーグを行い、パートごとに順位を決定し、各パート1位・2位の8チームで決勝トーナメント戦を行い順位を決定する。
なお、3位決定戦を行う。
- ③ その他詳細については、監督会議で決定する。

(3) 参加方法

- ① 参加者は大分県剣道連盟会員であること。
- ② チーム編成は、監督1名、選手7名(25歳未満1名、25歳以上35歳未満2名、35歳以上45歳未満2名、45歳以上55歳未満1名、55歳以上1名)、補欠2名の計10名とする。
ただし、選手の構成上やむを得ず充当できない場合は、高年齢者が低年齢者のところに出場しても可。(国体基準に準ずる)
- ③ 国体形式とし、職業、段位の制限はしない。
- ④ 年齢の基準は、平成30年4月1日とする。

(4) 競技規則

- ① 全日本剣道連盟剣道試合、審判規則とその細則による。
- ② 試合時間は4分3本勝負とし、勝負の決しないときは引き分けとする。
- ③ チームの勝敗は、勝者数法による。なお、リーグ戦試合内において同点の場合は、代表戦は行わない。
- ④ 予選リーグの順位決定は(ア)～(カ)で決定する。
(ア)勝ち数の多いチーム
(イ)負け数の少ないチーム
(ウ)勝者数の多いチーム
(エ)総本数の多いチーム
(オ)ア～エが同数の場合は、敗者数の少ないチームを上位とする
(カ)ア～オまでが同数の場合は代表戦を行う
- ⑤ 代表者戦は、監督の抽選によりポジションを特定、時間無制限の1本勝負とする。

4 そ の 他

- (1) 選手の登録に虚偽の申請があった場合は、そのチームを失格とし最下位とする。
- (2) 所定の年齢のポジションが欠員の場合、そのまま出場を認める。
- (3) 郡市名、姓の入った名札をつけること。
- (4) 大会開催基準要綱8、大会の参加及び参加資格の(1)、(2)、(3)項による。

17 山岳競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9日(日)

9月8日(土)

佐伯市立米水津中学校体育館(以下「体育館」)集合	10:00までに
受付(「体育館」)	10:00～10:30
監督・リーダー会議(体育館)	10:30～11:00
開始式(「体育館」)	11:00～11:30
元越山色利登山口集合、開始通告	13:00
縦走競技(元越山登山口～元越山山頂)	13:00～15:30
終了後、佐伯市立米水津中学校グラウンド(以下「グラウンド」)で幕営	
監督会議(「体育館」)	16:30～17:00

9月9日(日)

「グラウンド」集合完了、開始通告	8:00
踏査競技(「グラウンド」前スタート・ゴール)	8:00～11:00
終了後待機	
表彰式(「体育館」)	14:00

2 会 場 佐伯市 元越山 (幕営地 佐伯市立米水津中学校グラウンド)

3 実施要領

(1) 種 別 ア 男子郡市対抗 イ 女子郡市対抗

(2) 種 目 ア 踏査登山競技 イ 縦走登山競技

(3) 競技方法

- ① 郡市対抗(男女別に競技し、その合計得点によって、郡市の順位を決定する。)
- ② 審査の対象は男・女とも選手3名とする。
- ③ 装備は県体山岳競技に適したものであること。
競技中、身体を保護するため、下半身は、足首まで覆えるズボン類に限定する。(長ズボン、スポーツタイツ等)。ただし、履き物は運動靴でもよい。サブザックを持参すること。
- ④ 縦走登山競技での負荷重量は、男子チーム40.0kg以上、女子チーム30.0kg以上とする。
踏査登山競技での負荷は制限しない。ただし、日帰り登山に必要な装備を持つこと。
- ⑤ 踏査登山競技は、別紙地図に示した枠内の区域で実施する。
- ⑥ 監督は、競技実施中個人装備のみを持つこと。

(4) 参加方法

- ① 監督1名、選手(男女別に)5名で申し込むこと。男女とも選手1名をリーダーとする。
監督・選手の変更は県の総監督会議までとする。
5名のエントリーメンバーの中から第1日目の受付時に縦走・踏査競技選手3名を計画書に記載して提出すること。縦走競技と踏査競技の選手は同一でなくてもよい。
- ② 白地に郡市名と氏名を記入した縦4cm、横7cmの胸章を左胸につける。リーダーは外枠を赤色にする。監督は郡市の腕章をつける。さらにザック(メイン・サブ)及び雨具にも白地に郡市名を記した標識をつける。

(5) その 他

- ① 地図は、2万5千分の1(国土地理院発行)「畑野浦」「佐伯」を使用する。
- ② 各郡市とも、郡市旗を持参すること。竿は本部で用意する。
- ③ 競技中、幕営中に出た残飯類、ゴミ、空き缶、空き瓶等は全て各自で持ち帰ること。
- ④ 荒天時以外には体育館での宿泊はできない。
- ⑤ 競技に関する連絡、資料の送付等は原則として大分県山岳連盟のブログで行うので、各チームは各自で確認し、提出文書の様式等はダウンロードして使用すること。

18 サッカー競技

1 日 時 平成30年 9月1日(土)・2日(日)
競技開始 9月1日(土) 9:30
9月2日(日) 9:00

2 会 場 別府市実相寺サッカー競技場(2面)
別府市野口原総合運動場
別府市実相寺多目的グラウンド

3 実施要領

(1) 種 別

郡市対抗

(2) 競技方法

- ① 郡市対抗とし、1郡市1チームとする。
- ② 競技時間は60分とし、勝敗の決しない場合はPK方式により次回戦の出場チームを決定する。決勝戦は20分の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により決定する。
- ③ 競技は、トーナメント方式とする。
- ④ 競技規則は、(公財)日本サッカー協会競技規則によるものとし、交替は7名までとする。

(3) 参加資格

- ① 県民体育大会実施要綱の参加資格による。
- ② チームは監督1名、チーム役員5名以内、選手18名以内の合計24名以内の登録とする。
- ③ 当日の選手変更は認めない。

(4) その他

- ① ユニフォームは、正・副の2着を必ず用意すること。
- ② 試合開始30分前までに、その試合のメンバー表(4枚)を本部へ提出のこと。
- ③ 退場を命じられた選手は、次の1試合には出場できず、それ以降の処遇については、(一社)大分県サッカー協会規律委員会の裁定に従うこととする。
- ④ 本大会は警告の累積を行い、2回警告を受けた選手は次の1試合の出場を停止する。
- ⑤ 試合球は各チーム持ち寄りとし、モルテン社製の試合球5号(検定球)を必ず用意すること。
- ⑥ 本大会においての事故、ケガ等に関しては、各自の責任において処理をし、主管競技団体は一切の任を負わないこととする。
- ⑦ 本大会において準々決勝までは、各郡市チームにおいて帯同審判で行うこととする。
- ⑧ 審判該当郡市チームは主審1名(3級以上)、副審2名(4級以上)、第4の審判員(4級以上)を必ず用意すること。
- ⑨ 審判員は(公財)日本サッカー協会発行の審判証(ID)を必ず本部に提出し、審判服を着用すること。

19 ソフトボール競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日) 10日(月)予備日
監督会議 9月8日(土) 8:20
場所 男子 臼杵市民球場
女子 県立津久見高等学校グラウンド
競技開始 9月8日(土) 男子9:15 女子9:30
9月9日(日) 9:00
9月10日(月) 予備日

2 会 場 男 子 臼杵市民球場
臼杵市総合運動公園多目的グラウンドA・B
女 子 県立津久見高等学校グラウンド(1日目)
県立津久見高等学校第二グラウンド(1日目)
津久見市彦の内グラウンド(1日目)
臼杵市総合運動公園多目的グラウンドA・B(2日目)
閉会式 臼杵市民球場(男子・女子合同で行う)

3 実施要領

(1) 種 別

① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 競技方法

- ① 競技規則は2018年(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールを適用する。DPを使う場合、FPは当該DPと同一年齢層の者(男子の試合に限る。)とする。
- ② 競技は、全てトーナメント方式で7回戦とする。ただし、90分の時間制限を適用し、90分を超えて新しい回には入らない。90分以内で7回を終了し同点の場合は、90分を超えるまでは、タイブレーカーを行う。90分を超えて同点の場合は、抽選とする。時間の計測開始は、プレイボール宣告時とし、決勝戦には時間制限を適用しない。
- ③ 3回15点、4回10点、5回以降7点差以上の場合は、コールドゲームとする。
- ④ 使用球はゴム検定3号ボール、バットは検定3号バットとする。
- ⑤ 塁間は男女とも18.29m、投捕間は男子14.02m、女子12.19mとする。
- ⑥ 打者、走者、次打者は両耳ヘルメットを、捕手もヘルメットを必ず着用する。
- ⑦ 雷鳴がかすかでも聞こえたら、直ちに試合を中断する。
- ⑧ サスペンデッドゲームを採用する。
- ⑨ 怪我等危険防止の為、金属製スパイクの使用を禁止する。

(3) 参加方法

- ① チームは監督、コーチを含め20名以内とし、監督、コーチは選手を兼ねることができる。ただし、異性の監督、コーチは選手を兼ねることはできない。
- ② 男子は40歳以上3名、30歳以上40歳未満3名、30歳未満3名を常時出場させる。ただし、上位年齢層の者は、下位年齢層の者に替わることができる。この場合、申込みの時点で替わる年代のユニフォームナンバーを背負うものとする。男子選手の交代は、同一年齢層のみ認める。
- ③ 女子は、35歳以上の選手を常時2名以上出場させる。
- ④ 年齢は、平成30年4月1日現在の満年齢とする。
- ⑤ 男子チームのユニフォームナンバー(背番号及び胸番号)は、40歳以上は40番台以上を、30歳以上40歳未満は30番台を、30歳未満は20番台を縫いつける。監督は赤色リボン、主将は青色リボンを左肩に縫いつける。リボンは容易に確認できるサイズとする。
- ⑥ 女子チームのユニフォームナンバー(背番号及び胸番号)は、35歳以上は30以上を、35歳未満は29以下を縫いつける。監督は赤色リボン、主将は青色リボンを左肩に縫いつける。リボンは容易に確認できるサイズとする。
- ⑦ 胸のマークは、郡市名とする。
- ⑧ 不正出場は、大会要項に基づき失格とする。

議員ソフトボール競技（公開競技）

- 1 日 時 平成30年 9月8日(土)、9月10日(月)
- 監督会議 9月8日(土) 9:30 場所:佐伯市濃霞グラウンドA
(監督会議には必ず出席すること)
- 競技開始 9月8日(土) 10:30
9月10日(月) 9:00
- 2 会 場 佐伯市濃霞グラウンドA・B
佐伯市立鶴谷中学校グラウンド
- 3 実施要領
- (1) 種 別
議会議員
- (2) 競技方法
- ① 競技規則は2018年(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールを適用する。
 - ② 競技は、全てトーナメント方式で5回戦とする。ただし、60分を超えるときは新しい回に入らない。
 - ③ 延長戦は行わない。勝敗が決しないときは抽選とする。
 - ④ 得点差による、コールドゲームは適用しない。
 - ⑤ 使用球はゴム検定3号ボール、バットは検定3号バットとする。
 - ⑥ 塁間は18.29m、投捕間は12.19mとする。
 - ⑦ 金属製スパイクの使用を禁止する。
 - ⑧ 打者・走者・次打者は両耳ヘルメットを、捕手はマスク・捕手用ヘルメット、ボディプロテクター及びレガーズを必ず着用すること。
 - ⑨ 雷鳴がかすかでも聞こえたら、直ちに試合を中断する。
- (3) 参加方法
- ① チーム編成は県、市及び郡単位とする。
 - ② チームは、監督・コーチを含め20名以内とする。ただし、監督・コーチは選手を兼ねるものとする。
 - ③ ベンチに入ることができるのは、参加申込書に記載された監督、コーチ、選手に限る。
 - ④ ユニフォームナンバー(背番号及び胸番号)は必ずつけること。ただし、主将は10、監督は30、コーチは31・32とする。
 - ⑤ 胸のマークは郡市名とする。ただし、県議会は大分県議会又は県議会とする。

20 バレーボール競技

- 1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)
- 開 始 式 9月8日(土) 9:30 中津市ダイハツ九州アリーナ(メイン)
- 競技開始 9月8日(土)10:30 予選グループ戦
- 予選グループ戦後【抽選会】
- 決勝トーナメント1回戦
- 9月9日(日) 9:30 決勝トーナメント準々決勝～決勝

- 2 会 場 中津市ダイハツ九州アリーナ
県立中津東高等学校体育館

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

バレーボール9人制

(3) 競技方法

- ① 競技はすべて郡市対抗とする。
- ② グループ戦の後、トーナメント方式で行う。
- ③ 3位決定戦は行わない。
- ④ 前年度上位2郡市を予選グループ戦のシード対象とし、同グループに入らないものとする。
また、対象郡市が決勝トーナメントに勝ち進んだ場合は、シード対象とする。ただし、対象郡市がグループ戦で1敗し復活出場した場合は、決勝トーナメント戦でのシード権を失う。

(4) 参加方法

- ① 参加チームは、各郡市とも予選または推薦を経た1チームのみとする。
- ② 各種別とも住民登録によるチーム編成とする。
- ③ チーム編成は監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内、計18名以内とし、ユニフォームの番号は1～15が望ましい。

(5) 競技規則等

- ① ルールは、平成30年度日本バレーボール協会制定9人制による。
ただし、競技者交代の回数は制限しないが交代要領は9人制競技規則による。
- ② ボールは、日本バレーボール協会公認5号球人工皮革(カラー)とする。
- ③ 男子:ミカサ(MVA300)・女子:モルテン(V5M5000)
- ④ 本大会は、各セット11点で30秒間の給水タイムを設定する。

21 ハンドボール競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)
競技開始 9月8日(土) 11:00
9月9日(日) 10:00

2 会 場 県立大分舞鶴高等学校多目的競技場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子の部を公開(非採点)競技として実施

(2) 競技方法

- ① 競技はトーナメント方式による。
- ② 試合は25分ハーフ(休憩10分)とする。
- ③ 同点の場合は第1延長戦を行い、決しない場合は、7mスローコンテストを行う。
- ④ 競技規則は、平成30年度日本ハンドボール協会競技規則による。
- ⑤ 松ヤニ及びスプレーの使用は禁止する。

(3) 参加方法

- ① 各チームは、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名、計18名で編成する。
- ② 背番号は必ず付けること。

22 ライフル射撃競技

1 日 時 平成30年 9月8日(土)・9日(日)
 監督会議 9月8日(土) 10:00
 開始式 9月8日(土) 10:45
 競技開始 1日目 9月8日(土) 12:00

12:00 12:50 BRT60W (女子)1射群	13:20 14:10 BRT60W (女子)2射群	
12:00 13:00 BP60W (女子)1射群	13:30 14:30 BP60W (女子)2射群	15:00 16:00 BP60W (女子)3射群

2日目 9月9日(日) 9:30～14:00

9:30 11:00 10mS60M・W (男子・女子)			
9:30 10:40 10mP60M・W (男子・女子)			
9:30 10:15 BRS60M (男子)1射群	10:45 11:30 BRS60M (男子)2射群	12:00 12:45 BRS60W (女子)1射群	13:15 14:00 BRS60W (女子)2射群
9:30 10:30 BP60M (男子)1射群	11:00 12:00 BP60M (男子)2射群	12:30 13:30 BP60M (男子)3射群	

表彰式 9月9日(日) 14:30(射撃場内)

2 会 場 県立庄内屋内競技場

3 実施要領

- (1) 種 別 男女混合郡市対抗
- (2) 種 目 A AR伏射60発(10mP60M・W)【男子・女子混合】
 B BR女子肘射60発(BRT60W)(女子)
 C BR立射60発(BRS60M)(男子)
 D AR立射60発(10mS60M・W)【男子・女子混合】
 E BP60M(男子)
 F BP60W(女子)
 G BR女子立射60発(BRS60W)(女子)
- (3) 競技方法 競技種目は、日本公式AR・BR競技規則による。
- (4) 得 点 種目順位得点の合計点の多少による。
- (5) 参加方法 ① 種目A・B・C・D・E・F・Gは、各1名であること。
 ② 監督1名、選手7名、補欠2名(男1、女1)とする。(計10名)
 ③ 補欠選手は参加できる選手を登録のこと。
 ④ 各郡市においては、1種目(1名)のみの参加でも可。
 ⑤ 郡市のゼッケンを必ずつけること。

23 クレー射撃競技

1 日 時	平成30年 9月1日(土)・9月2日(日)		
	監督会議 9月1日(土)	9:00	場所:大分射撃場
	開始式 9月1日(土)		監督会議終了後
	競技開始 9月1日(土)		開始式終了後
		9月2日(日)	8:00 スキート
			8:30 トラップ

2 会 場 豊後大野市大分射撃場

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 ① トラップ射撃

② スキート射撃

(3) 競技方法

トラップ、スキートとも1人100ヶ撃ち(4ラウンド)として2日間に分射する。

(4) 参加方法

各チームは監督1名、トラップ選手3名、スキート選手3名、計7名で編成すること。

(5) そ の 他

① ルールは、ISSFルール(国際ルール)に準ずる。

② 装弾は、日本クレー射撃協会検定装弾を使用のこと。

③ 郡市単位にて、種目別オープン参加を認める。各郡市体育協会に所属していれば、1種目の参加でも得点を認める。

④ 郡市旗をできるだけ持参のこと。

⑤ 郡市名を入れたゼッケンを必ず着けること。

⑥ 監督会議の出席は、監督又は選手のみとする。

⑦ クレー代として、1人6,000円を徴収する。

⑧ 個人戦は、上位6名でメダルマッチを行う。

24 銃剣道競技

1 日 時	平成30年 9月9日(日)	
	監督会議 9月9日(日)	9:30
	開始式 9月9日(日)	10:00
	競技開始 9月9日(日)	10:30

2 会 場 佐伯市弥生B&G海洋センター

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 郡市対抗
- ② 個人戦(銃剣道・短剣道)

(2) 競技方法

- ① 団体試合の試合時間は、3分1本勝負、延長2分、勝敗が決しない場合は判定とする。勝敗が同数の場合は、勝本数の多いチームの勝ちとする。勝数・勝本数が同数の場合は、代表戦(自衛官を除く)によって決める。この場合は、3分1本勝負、延長2分、勝敗が決しない場合は判定とする。
- ② 個人試合は、年齢順に組み合わせ、トーナメント方式で行う。3分1本勝負とし、勝敗が決しない場合は判定とする。

(3) 参加方法 (年齢は、平成30年4月1日の満年齢とする。)

- ① 団体試合は、監督1名、選手5名、補欠3名を1チームとする。先鋒・次鋒は自衛官、大將は、50歳以上及び女性とする。
- ② 個人試合は、銃剣道・短剣道に区分し、銃剣道は50歳以上と50歳未満及び女性の部に区分する。ただし、銃剣道は自衛官を除くものとし、1チームの出場選手数の制限はしない。
- ③ チーム中に現役自衛官を2名まで入れてもよい。ただし、女性はその限りでない。

(4) 注 意

- ① 各選手は中央垂一面に黒布をつけ、団体名、姓を白書し、縫着する。
- ② 各チームの監督は、その責任を明確化するため腕章を着用する。
- ③ 試合者の服装は、銃剣道等の服装に関する基準「白色の運動服上下又は袴」(袴を着用する場合は、白又は紺でチームを統一する。)とともに、右腕に段位章を装着する。
- ④ 審判員の構成は、主審1名、副審2名をもって組織する。
- ⑤ 審判員の服装は、銃剣道試合審判規則及び細則による。他、大会本部が示す。
- ⑥ 「銃剣道・短剣道教則」「銃剣道試合・審判規則及び細則」並びに本競技会試合規則に従って勝敗を決定する。
- ⑦ 木銃は、「銃剣道教則」別図第2を基準とする長木銃とし、突起部から40cmの位置とそこから20cmの位置に幅約1cmの白テープを巻いた木銃を使用するものとする。
- ⑧ 短竹刀は、「短剣道教則」附図の短剣道竹刀(一般用)とし、他は使用できない。
- ⑨ 道場内での運動靴の使用を禁止する。

25 ボウリング競技

1 日 時	平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)		
	監督会議 9月8日(土)	9:00	場所:OBSボウル
	開始式 "	10:00	"
	競技開始 9月8日(土)	10:30	2人チーム戦(前半)
		12:00	2人チーム戦(後半)
		13:30	3人チーム戦(前半)
		15:00	3人チーム戦(後半)
	9月9日(日)	9:00	個人戦(前半)
		10:30	個人戦(後半)
		12:00	男女混合4人チーム戦(前半)
		13:30	男女混合4人チーム戦(後半)
		15:30	閉会式・表彰式

2 会 場 OBSボウル(34レーン・17ボックス)

3 実施要領

(1) 種 別

男女混合郡市対抗戦

(2) 種 目

- ① 2人チーム戦(6ゲーム)(2チーム参加)
- ② 3人チーム戦(6ゲーム)(1チーム参加)
- ③ 男女混合4人チーム戦(6ゲーム)(1チーム参加)
- ④ 個人戦(6ゲーム)(4名参加)

(3) 競技方法

- ① 各種目ごとに定められたゲーム数を投球し、合計点で順位を決定する。
(HCは女子のみ1G-15P)
- ② 各種目の得点及び郡市別の総合得点は、実施要項の郡市対抗競技採点方式により決定する。
- ③ 競技は、(公財)全日本ボウリング協会(JBC)の競技規則に基づく。

(4) 参加方法

- ① 各郡市に居住し選抜された者で、監督・補欠を含め12人以内。(監督と選手は兼ねることができる)
(年齢は平成30年4月1日現在の満年齢)
- ② 競技申込は、受付時に各種目別のメンバー表を提出し、各競技開始30分前までに終了のこと。
- ③ 服装は、スポーツのできるシャツを着用し、背部に郡市名の判断できるゼッケンをつけること。
- ④ ボウルは各自のボウルを使用する。また、競技場に備付のボウルを使用しても可とする。
- ⑤ レーン使用料として、1ゲームあたり500円を徴収する。
(全種目参加の場合は、90ゲーム)

26 セーリング競技

1 日 時	平成30年 9月8日(土)・9月9日(日)		
	監督会議 9月8日(土)	10:00	
	競技日程 9月8日(土)	10:30	開始式
		12:00	男子種目第1レース
		引き続き	男子種目第2レース
		引き続き	女子種目第1レース
	9月9日(日)	9:00	男子種目第3レース
		引き続き	女子種目第2レース
		引き続き	女子種目第3レース
		15:00	表彰式

2 会 場 臼杵市佐志生海岸

3 実施要領

(1) 種 別

① 男子郡市対抗 ② 女子郡市対抗

(2) 種目並びに参加人員

総監督 1名(セーリング・マネージャー)

① 男子 監督1名・選手12名

A シングルハンダー級4名(補欠2名) B ウインドサーフィン級4名(補欠2名)

② 女子 監督1名・選手5名

A シングルハンダー級2名(補欠1名) B ウインドサーフィン級1名(補欠1名)

(3) 競技方法

① 2017～2020年国際セーリング競技規則、日本セーリング連盟付則を適用する。

② 各種目の参加人員は、上記の通りとする。

③ 各種目ごとに3回のレースを行う。ただし、天候そのほかの事情により3回のレースが実施できなかった場合でも、それぞれの種目でレースが1回以上成立していればその種目は有効とする。

④ 各種目のレースに使用する競技艇及びライフジャケットは、参加郡市が持参すること。

⑤ 各郡市が持参する参加艇は、所定の申込用紙により正式に参加登録を行った艇に限る。

⑥ セールに郡市ナンバーを貼付すること。(貼付方法並びに郡市ナンバーは別紙による)

(4) 参加方法

大分県民体育大会開催基準要綱8に定めるもののほか次による。

① 男子種目に限り大学生の出場はできない。

② 選手及び監督は、大分県セーリング連盟会員であることとする。

(5) 成績採点方法

各種目の各レースごとに低得点方式で得点を与え、その得点合計で種目順位を決め、その種目合計で郡市得点を与える。

(6) 表 彰

① 男女総合成績第1位から3位までの郡市に表彰状を与える。

② 各種目第1位から3位までの郡市に表彰状を与える。

(7) 参加申込みについて

参加申込みは、所定の用紙により申込みをする。

27 空手道競技

1 日 時 平成30年 9月9日(日)
監督会議 9月9日(日) 9:00
開 始 式 9月9日(日) 9:30
競技開始 9月9日(日) 10:00

2 会 場 佐伯市民武道館

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 郡市別対抗団体競技
- ② 郡市別対抗個人競技

(2) 種 目

- ① 一般男子組手団体戦
- ② 一般男子形個人戦
- ③ 一般男子組手個人戦
- ④ 一般女子形個人戦
- ⑤ 一般女子組手個人戦

(3) 競技方法

- ① 一般男子組手団体戦は、各郡市団体(3名)によるトーナメント方式とする。
- ② 形個人戦は、男女とも各郡市代表選手(1名)による得点方式とするほか次によるものとする。
演武は各選手2回行うものとし、1回目は世界空手道連合形競技規定及び細則による全日本空手道連盟指定形の中から選び、2回目は得意形とする。ただし、同一形は繰返し演武できない。
- ③ 組手個人戦は、男女とも各郡市代表選手(1名)によるトーナメント方式とする。
- ④ 競技ルールは各種目とも「(公財)全日本空手道連盟、空手道競技規定」によるものとする。

(4) 参加資格(不正出場の場合、失格で最下位となります。)

- ① 大分県に在住(住民票を有する)する社会人及び学生。
- ② 満19歳(当該年4月1日現在)以上の者は社会人とみなす。
- ③ 休暇で帰省した競技者の参加は認めない。

※(公財)全日本空手道連盟登録会員であって大分県空手道連盟に登録されている者(監督を含む)。なお、監督は連盟主催の審判講習会を受講した者に限る。

(5) 参加方法

- ① 各郡市体育協会へ提出する所定の「参加申込書」の(写)を「県空手道競技実行委員会(県連事務局)」へ送付し、参加資格の審査を受けるものとする。
- ② 各郡市の編成は監督1名とし、選手・補欠は次の通りとする。

組手団体戦	選手3名・補欠2名
男子形個人戦	選手1名・補欠1名
男子組手個人戦	選手1名・補欠1名
女子形個人戦	選手1名・補欠1名
女子組手個人戦	選手1名・補欠1名

※団体戦・個人戦における重複出場は可とする。

(6) 採点方法

大分県民体育大会所定(主催者)の競技採点方式により、各競技種目別順位並びに総合順位を決定する。

(7) 表 彰

各種目及び総合3位までを表彰する。なお、組手競技の3位決定戦は行わない。

(8) そ の 他

大会役員、審判員委嘱を受けた役員は当日「印鑑」を持参してください。
※出場選手の変更は総監督会議までとし、以降の変更は認められない。

28 アーチェリー競技

1 日 時	平成30年 9月9日(日)				
	会場設営	9月8日(土)	10:00	(各郡市、2名の参加)	
	監督会議	9月8日(土)	17:00	(会場設営終了後)	
	開始式	9月9日(日)	9:15		
	競技開始	9月9日(日)	9:30	午前50m	午後30m

2 会 場 佐伯市総合運動公園多目的広場

3 実施要領

(1) 種 別

男女郡市対抗

(2) 種 目

① 団体競技(男女混合3位まで表彰)

② 個人競技(男女各3位まで表彰)

(3) 競技方法

① 50m、30m(各36射)72射の合計

② 弓具及びルールについては、全日本アーチェリー連盟競技規則による。

(4) 参加方法

① 参加者は、大分県アーチェリー協会登録者に限る。

② 団体競技においては、各郡市9名を出場人数とする。

ただし、男女混合でもよいが、男女いずれか一方が7名以上の参加は認めない。

③ 個人競技においては、団体参加者の男、女の選手により競技する。

④ チーム編成は、監督1名、選手9名以内、計10名以内とし、監督が選手を兼ねてもよい。

(5) 採点方法

大分県民体育大会郡市対抗競技採点方法によるほか、次による。

① 団体9名のうち、上位3名の記録の合計により郡市の団体順位を決定する。

また、合計得点が同点の場合は、記録上位者のいる郡市が上位になる。

② 個人男子、個人女子ともに、郡市得点の採点対象とはしない。

29 スキー競技（第72回）

1 日 時	平成31年 1月 日(土)～1月 日(日)		
	開会式・監督会議	1月 日(土) 17:00	筋湯観光ホテル
	インスペクション	1月 日(日) 9:00	チャレンジ・ファミリーゲレンデ
	競技開始	1月 日(日) 9:30	チャレンジ・ファミリーゲレンデ
	閉会式	1月 日(日) 15:30	レンタルハウス前

2 会 場 九重森林公園スキー場 Tel:0973-79-2200/Fax:0973-79-2271

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 一般男子郡市対抗
- ② 一般女子郡市対抗

(2) 種 目

ジャイアントスラローム

(3) 競技規定

- ① 全日本スキー連盟競技規則を準用する。但し本大会において定めた規約が優先する。
- ② 出走は1回とし、タイムで順位を決める。(制限タイムは3分以内とする。)
- ③ 出走順は一般女子一般男子の順で行い、郡市順は抽選により決定し、第2出走者以降は、逆順、正順を繰り返す。それぞれの出走順は郡市ランキング1位からとする。

(4) 採点方法

- ① 得点に採用する記録は各郡市男子5走中上位4名の記録を採用し、女子4走中上位3名の記録を採用する。男女とも得点対象選手数プラス1点を優勝選手の得点とし、2位選手を出走選手数マイナス1点とする。以下1点を減じ、出走後の棄権・タイムオーバーについては最下位点(1点)を与える。不出走は0点とする。
- ② 男女とも選手の得点を合計し郡市順位を決め、上記同様の方法で郡市得点を与える。総合順位は、男女の郡市得点を合計して決める。
但し、同順位の場合は次の得点を加え等分する。

(5) 参加方法

- ① 参加各郡市は、所定の参加申込用紙に必要事項を記入し大分県教育委員会体育保健課内大分県民体育大会実行委員会事務局へ申し込むこととする。
- ② 参加選手は大分県スキー連盟会員であること。
- ③ 選手男子5名、女子4名、監督男女各1名とする。
但し、選手と監督を兼ねることができる。
- ④ 申込み締め切り後の選手の変更は認めない。

(6) 申込締切

平成31年1月 日()必着

(7) 抽 選

平成31年1月 日()於大分市

(8) そ の 他

- ① 出場選手は傷害防止のためクラッシュヘルメットを着用すること。非着用者の出走は認めない。ストッパーは必ず使用することとし、未使用者の出走は認めない。
- ② インスペクションは、○日9時から20分間とし、ゼッケンを見えるように着用の上デラパーージュで行うこと。違反者については一度注意を促し、2度目は失格として出走させない。
- ③ 本要項及びそれ以外の事項について疑問が生じた場合は、競技本部で決定する。
- ④ 競技中の事故については、応急処置を行うがその責任は負わない。
出走選手は個人の責任において保険に加入すること。
- ⑤ 事前の会員登録手続きを済ませてない選手は、開会式会場で登録手続きを行う。
- ⑥ スキー場の利用に当たり一人ごとにリフト券(入場券付き)の購入が必要。
- ⑦ 開会式の出席者は代表者のみで可。選手は任意にて出席。

30 ゲートボール競技

1 日 時 平成30年 9月9日(日)
監督会議 9月9日(日) 8:15
開始式 9月9日(日) 8:30
競技開始 9月9日(日) 9:00 予備日 9月10日(月)

2 会 場 佐伯市弥生スポーツ公園(多目的グラウンド・スパーク弥生)

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子郡市対抗

(2) 競技方法

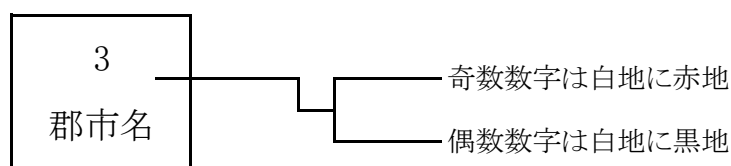
- ① (公財)日本ゲートボール連合公式競技規則2015を準用する。
- ② A(男子)・B(女子)パートに分け、それぞれ4コートで予選リーグを行い、各コートの1位・2位・3位・4位を決定する。
勝敗は1=勝率 2=得失点差 3=対戦済みの勝者とする。
- ③ 決勝は各パート別に、各コートの1位・2位・3位・4位グループ別によりトーナメントを行う。
- ④ 競技時間は30分とする。

(3) 参加方法

- ① 1郡市の出場チーム数は、男女それぞれ1チームまでで計2チームとする。
- ② 1チームの常時出場競技者は、原則として65歳以上4名・65歳未満1名とする。
※65歳未満の者が2名までは出場できる。
- ③ チームの編成は、監督1名・審判員1名(同性が望ましい)、主将を含め、競技者は7名とする。
- ④ スティック・監督(主将)腕章は、各チームで準備すること。
- ⑤ 服装はチーム毎統一したものとし、胸背部に郡市名入りのゼッケンを付けること。
- ⑥ ゼッケンは、奇数数字は白地に赤字で、偶数数字は白地に黒字書きを原則とし、その数字の大きさは10cm×10cm以上とする。
- ⑦ 審判は、相互審判員制とする。但し、審判員はワッペンを携帯のこと。

(4) そ の 他

ゼッケン作製例



3 1 ゴルフ競技

1 日 時 平成30年9月7日(金) 8:00スタート

2 会 場 由布市大分サニーヒルゴルフ倶楽部

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗戦(各都市より1チーム)

(2) 種 目 ① 団体の部 ② 個人の部

(3) 参加資格

大分県内に在住する社会人及び学生(大学生に限る)で、アマチュア競技者であること。

(4) チーム編成

① 1チームは、監督1名、選手8名、補欠3名の計12名で編成する。

② 選手の中に55歳以上の者4名。70歳以上の者又は女子から1名以上を必ず加えること。
この年齢については、平成30年4月1日までに当該年齢に達すること。

(5) 競技方法

① 競技は、日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び本競技ローカルルールを適用する。

② 18ホールストロークプレーとする。

③ 競技は全て、スクラッチ競技とする。

(6) 順位の決定

① 団体の部

8名中上位7名の合計によって決定する。ただし、7名の合計が同じ場合は、全員の合計によって順位を決定する。さらに同じ場合は、順次最小打数の者がいるチームを上位とする。

② 個人の部

各部門は年齢で区分し、55歳未満の部、55歳以上の部、70歳以上及び女子の部の3部門別の最小打数の者をメダリストとする。ただし、同スコアーの場合はマッチングカード方式によって決定する。

(7) 選手選出法 各郡市に一任

(8) 選手の変更 選手の変更は、大会当日の午前7時30分までとする。

(9) 組み合わせ 組み合わせは、昨年1位から4位までを除き抽選にて決定する。

組み合わせは、大会事務局において行い、組み合わせ発表後のスタート時刻の変更は認めない。但し、大会運営上必要と認められる場合は組み合わせを一部変更することがある。

(10) プレー料金

監督、選手(補欠を含む)については、大会当日及び出場選手決定後の練習日(大会当日2週間前から、日祭日及び土曜日を除くウィークデーの2回限りとする)は、会員に準ずる扱いとする。

※参考・・・ ① 大会当日5, 790円(セルフ)

② 練習日6, 290円(セルフ)

※上記金額は、平成30年2月現在のものであり、変更になる可能性があります。

(11) その他

【個人総合メダリスト】

本競技の最小打数者(70歳以上及び女子の部での出場を除く)を総合メダリストとする。ただし同スコアーの場合は、大会競技委員長の指定するホールにおいてサドンデス方式のプレーオフによって決定する。総合メダリストの者は、平成31年九州ゴルフ連盟主催の九州アマチュア選手権競技決勝大会に出場できる予定である。

3 2 レスリング競技

- 1 日 時 平成30年 9月9日(日)
監督会議 9月9日(日) 9:00
競技開始 9月9日(日) 10:00

2 会 場 日本文理大学附属高等学校レスリング場

3 実施要領

(1) 種 別

郡市対抗団体戦

(2) 種 目

男子フリースタイル

(3) 競技方法

- ① 5階級(66kg級・74kg級・84kg級・96kg級・96kg以上級)を1チームとし、監督1名、選手5名、計6名。
- ② 試合はトーナメント方式で行う。
- ③ 試合時間は、2分試合－1分休憩－2分試合とする。
- ④ 競技規則は、日本レスリング協会の規定に準ずる。

(4) 参加方法

参加希望者は、郡市体育協会を經由して、7月27日(金)正午まで県体事務局あてに申し込むこと。

(5) そ の 他

※計量は9月9日(日)9:00～9:30に会場で行う。

3 3 カヌー競技

1 日	時	平成30年9月9日(日)		
		監督会議	9月8日(土)	16:30
		開始式	9月9日(日)	9:00
		競技開始	9月9日(日)	9:30

2 会 場 豊後大野市リバーパーク犬飼特設カヌー場

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目 (6種目)

性別	種 目		
男子	スラローム(5～7ゲート)	ワイルドウォーター(300m)	スプリント(200m)
女子	スラローム(5～7ゲート)	ワイルドウォーター(300m)	スプリント(200m)

(3) 競技方法

- ① 日本カヌー連盟競技規則及び審判・監督会議の申し合わせ事項により実施する。
- ② 郡市対抗として成立するには、6種目中女子1種目を含む3種目以上の参加がなければならない。
- ③ 参加選手数が最も多い種目の選手数を、全ての種目の1位の得点とし、2位以下は各種目の参加選手数により配分する。スタートしたがゴールできなかった選手には、1点を与える。スタートしなかった場合は0点とする。

$$\text{得点} = \text{最多参加選手種目の選手数} - \frac{(\text{最多参加選手種目の選手数} - 1)}{(\text{その種目の選手数} - 1)} \times (\text{順位} - 1)$$

※小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出する。

- ④ 都市対抗の順位は、各種目の得点合計により決定する。同点の場合は優勝数により決定。

(4) 参加方法

- ① 選手は一人1種目とする。
- ② 参加チームは監督1名、男子選手7名以内、女子選手4名以内、補欠男子1名以内、補欠女子1名以内、計14名以内とする。なお、監督は選手を兼ねることができる。

③ 各種目のエントリー数

A 男子スラローム	3名以内
B 男子ワイルドウォーター	3名以内
C 男子スプリント	1名
D 女子スラローム	1名
E 女子ワイルドウォーター	2名以内
F 女子スプリント	1名

- ④ 種目間の選手変更及び種目への選手の追加は、総監督会議を期限とする。ただし、種目間の選手変更については、競技前日の審判・監督会議で了承されればその限りではない。
- ⑤ スラローム、ワイルドウォーターにおいてはライフジャケット、浮力体、ヘルメットを、また、スプリントにおいてはライフジャケットを必ず着用のこと。着用しない選手については出艇させない。

(5) そ の 他

① 用具及び要艇

各種目に使用する艇及びライフジャケット、パドル、ヘルメット等は、原則として、自艇参加とする。ただし、艇の借用希望があれば事前にカヌー協会に連絡すること。

- ② 競技前日は、コース設定後ゲートフリーとする。なお、競技当日は、ノンストップトレーニングは行わない。

34 なぎなた競技

1 日 時	平成30年 9月8日(土)
	役員会議 8:00～8:30
	監督会議 8:30～9:00
	審判会議 9:00～9:30
	開始式 9:30
	競技開始 10:00

2 会 場 臼杵市柔剣道場

3 実施要領

(1) 種 別 ① 郡市対抗 ② 公開競技

(2) 種 目 ① 演技競技(郡市対抗競技) ② 試合競技(公開競技)

(3) 競技方法

- ① 全日本なぎなた連盟審判規則による。
- ② 演技競技は1チーム3組による郡市対抗とし、チーム編成は監督1名、選手6名、補欠2名の計9名とする。なお、監督は選手を兼ねることができる。
- ③ リーグ戦により、順位を決定する。勝数、勝者数、勝本数同数の場合は、代表戦で決定する。
- ④ 指定の演技は、しかけ応じ1・4・5本目を行う。
- ⑤ 試合競技は、オープン参加とする。二部制を採用し、個人戦、団体戦とする。
- ⑥ 試合時間は3分とし、勝敗の決定しない時は判定とする。
- ⑦ その他詳細については監督会議で決定する。

(4) 参加資格

- ① 参加希望者は監督を定め、郡市体育協会を經由して県体事務局へ申し込むこと。
- ② 全国大会又はこれに準ずる大会に出場した者は参加できない。ただし、特例を認めることもある。
- ③ 演技競技は、男女で組んでもよい。
- ④ 年齢・段位の制限はしない。
- ⑤ 参加者は、大分県なぎなた連盟会員であり、平成30年度の登録を終了した者。

(5) その他

- ① 申込みについては県体実施要項に準ずる。
- ② 選手の登録に虚偽の申請があった場合はそのチームを失格とする。
- ③ 選手は上着の左胸に郡市名、姓の入ったゼッケン(縦13cm・横8cm)をつけること。防具には垂れネームを着けること。
- ④ 選手交代は申込者以外はできない。申し出は監督会議までとする。

35 フェンシング競技

1 日 時 平成30年9月9日(日)

監督会議 9:00

審判会議 9:30

開始式 9:45

競技開始 10:00

2 会 場 県立津久見高等学校多目的体育館

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子都市対抗(フルーレ団体)
- ② 女子の部を公開(非採点)競技として実施
- ③ 個人戦(3種目・公開競技)

(2) 種 目(個人戦)

- ① フルーレ(男子・女子)
- ② エペ(男子・女子)
- ③ サブル(男子・女子)

(3) 競技方法

- ① 国際フェンシング連盟(FIE)試合規則最新版を準用する。
- ② 団体戦のチーム編成は監督1名、選手5名の計6名以内とし、原則的に選手3名の紅白戦とする。ただし、監督は選手を兼ねることができる。
- ③ 都市対抗の順位は各都市のリーグ戦により決定する。チーム勝数、総勝者数、総突数、総突数から総被突数を引いた数が同じであった場合は代表戦で決定する。
- ④ 個人戦は、オープン参加とし、順位はトーナメント戦により決定する。
- ⑤ 個人戦の抽選は当日行う。
- ⑥ その他詳細については監督会議で決定する。

(4) 参加方法

- ① 参加希望者は、都市体育協会を経由して、県体事務局へ申し込むこと。
- ② 受付(コール)は、午前9時より行う。

(5) その他

- ① 各自の武器は整備して参加すること。
- ② 危険防止のため、ユニフォーム、プロテクターは、必ず着用すること。
- ③ 必ずスポーツ保険に加入すること。

36 グラウンド・ゴルフ競技

1 日 時 平成30年9月8日(土)・予備日9月9日(日)

監督会議 9:40

記録員説明 9:40

開始式 9:50

競技開始 10:00

2 会 場 臼杵市野津町吉四六ランド多目的グラウンド

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 競技方法

- ① 日本グラウンド・ゴルフ協会競技規則を適用する。
- ② 各チームの出場選手数は5名以上・8名以下とし、3コース24ホールで行う。
- ③ 競技は、団体戦のみとする。
- ④ 組合せは、実行委員会(主管団体)で作成する。
- ⑤ 打順は、ローテーション方式、2打目以降は順打で行う。
- ⑥ 記録(スコアカード)は、個人カードを使用する。

(3) 順位の決定

- ① チームの成績は、各チーム出場選手を上位5名の合計打数とする。
- ② 合計打数の少ないチームを上位とする。
- ③ 同じ場合は、チームの最小合計打数選手を比較し、少ない選手がいるチームを上位とする。これも同じ場合は、次の最小打数選手を比較する。以下同じ方法による。
- ④ 全員が全て同じ場合は、代表者による1ホール1打のニアピンプレーで決定する。

(4) 参加方法

- ① 参加資格は、大分県グラウンド・ゴルフ協会登録会員とする。
- ② チームの編成は、監督1名・選手8名以内とする。
(監督は選手を兼ねることができる。)

(5) 表 彰

1位から3位までを表彰する。

3 7 綱引競技

1 日 時 平成30年9月2日(日)

受付・計量 9:00

監督会議 9:40

開 始 式 10:00

競技開始 10:20

2 会 場 臼杵市立野津中学校体育館

3 実施要領

(1) 種 別 郡市対抗

(2) 種 目

① 男子ライトミドル級(出場8名の合計体重600kg以内)

② 女子フェザー級(出場8名の合計体重500kg以内)

③ 男女混合ライト級(出場8名の合計体重550kg以内)

(3) 競技方法

① 競技は予選リーグ戦(1本引)と順位決定リーグ戦(1本引)方式で行う。

② 競技規則は、(公社)日本綱引連盟規則に準じる。

(4) 参加方法

① チーム編成は、各郡市とも男子チーム(監督1名、トレーナー1名、選手8名、交代要員2名の12名以内)、女子チーム(監督1名、トレーナー1名、選手8名、交代要員2名の12名以内)、男女混合チーム(監督1名、トレーナー1名、男子選手4名、女子選手4名、交代要員男子1名、女子1名の12名以内)とする。

② 監督・トレーナーは選手を兼ねることができる。

③ 一人一種目の出場とする。

(5) 表 彰

種目別3位までと総合3位までを表彰する。

(6) そ の 他

競技中の事故については応急処置は行うがその責は負わない。

38 ボート競技(公開競技)

1 日 時	平成30年 9月9日(日)		
	監督会議	9:00	(三隈川特設会場)
	開始式	10:00	〃
	競技開始	10:30	〃

2 会 場 日田市三隈川特設会場

3 実施要領

(1) 種 別 男子郡市対抗(女子を含めても可)

(2) 種 目

①舵手つきフォア ②ダブルスカル ③シングルスカル

(3) 競技方法

① 日本ボート協会競漕規則により行う。

② 距離は各種目とも400mとする。

③ 競漕艇及びオールは協会で準備します。

(4) 参加方法

参加申込は、第71回大分県民体育大会実施要項による。

(5) 申 込 先

大分県民体育大会実行委員会事務局

39 ホッケー競技(公開競技)

1 日 時 平成30年 9月9日(日)

監督会議 9:00

開始式 9:30

競技開始 10:00

2 会 場 玖珠町メルヘンの森スポーツ公園ホッケー場

3 実施要領

(1) 種 別

- ① 男子郡市対抗
- ② 女子郡市対抗

(2) 種 目

- ① 男子 6人制ホッケー競技
- ② 女子 6人制ホッケー競技

(3) 競技方法

- ① 試合時間は男女とも15分ハーフとする。
- ② 競技規則は、平成30年度日本ホッケー協会6人制競技規則による。
- ③ 試合形式は、トーナメント戦とする。

(4) 参加申込

- ① 参加申込みは、第71回大分県民体育大会実施要項による。
- ② 郡市単位で申込むこと。

(5) 備 考

- ① ユニフォームは各チームとも2着用意すること。
- ② スパイクは原則として使用しないこと。

40 ボクシング競技(公開競技)

1 日 時 平成30年9月9日(日)
検診・検量 8:00
開始式 10:00
競技開始 11:00

2 会 場 県立鶴崎工業高等学校ボクシング場

3 実施要領

(1) 種 目

ライト・フライ級からミドル級まで7階級

(2) 競技方法

- ① 日本ボクシング連盟競技規則によって競技を行う。
- ② オープン戦方式で、1位、2位を決定する。
- ③ 各階級で2名以上参加の場合は、パートを分け、各パートの1位、2位を決定する。

(3) 参加方法

- ① 参加者は、県内在住者であること。
- ② 競技(練習)を開始して1年以上経過したもの。
- ③ 各郡市体育協会を經由して7月27日(金)まで県体事務局あて申し込むこと。
- ④ 平成30年度日本及び大分県ボクシング連盟に登録済みの者。

4 1 スケート競技（第72回）（公開競技）

1 日 時 平成31年 3月 日（ ） ※時間未定
開 会 式 3月 日（日）
競技開始 3月 日（日）

2 会 場 （未定）

3 実施要領

(1) 実施種目 ① 男 子 100m、300m、500m d

② 女 子 100m、300m、500m

（男女とも日本スケート連盟スピード競技特別規則に規定された1周100mの標準ショートトラックで行う。）

(2) 競技方法

① （公財）日本スケート連盟ショートトラック競技規則による。

② 各競技とも、タイムレースにより順位を決定する。

(3) 参加資格

① 大会参加規定による。

② 原則として、スポーツ安全保険等傷害保険に加入した者

③ 日本スケート連盟への登録は問わない。

(4) 用具・装備

① 全てのスケーターは下記の用品用具を着用しなければならない。

② ヘルメットは、顎の下で結ぶことのできる安全なヘルメットとする。

③ 切り傷等の予防のため手袋またはミット・長袖で足の先まで覆われた衣服を着用する。

(5) その他

荒天の場合は、中止もしくは延期することがある。

4 2 アイスホッケー競技(第72回) (公開競技)

1 日 時 平成31年 3月 日() ※期日・時間・会場未定

開 始 式 3月 日()

競技開始 3月 日()

2 会 場 (未定)

3 実施要領

(1) 実施種目 男子郡市対抗

(2) 競技方法 (公財)日本アイスホッケー連盟競技規則による。

(3) 参加資格 日本アイスホッケー連盟及び大分県アイスホッケー連盟登録者、又は連盟が承認した者。

4 3 馬術競技（公開競技）

1 日 時 平成30年 9月8日(土)
監督会議 9月8日(土) 9:30 (審判棟)
競技開始 9月8日(土) 10:00

2 会 場 豊後大野市三重総合グラウンド三重馬術場

3 実施要領

(1) 種 目

- ① 低障害飛越B（クロスバーの障害）
- ② 小障害飛越C（H80以内）
- ③ 小障害飛越A（H100以内）

(2) 参加方法

- ① 同一種目の参加は、一人馬1回限りとする。
- ② 参加者は傷害保険に加入のこと。

(3) 審判規定

日馬連競技一般規定を準用する。ただし、競技者の変更、服装に関する規程を除く。
服装においてはできるだけ準ずるものとする。

(4) 表 彰

各種目とも第3位まで表彰する。

(5) 申込期日

平成30年7月27日(金)正午締切

(6) 救護処置

競技中の事故については、応急処置は行うがその責は負わない。

(7) その他

- ① 馬料等は各自とする。
- ② 本大会要項は、当日監督会議で変更もあり得る。

Ⅹ 競技別エントリー数一覧表

No.	競技団体名	総監督	男子			女子			その他	計
			監督	選手 (補欠等含)	その他 (マネージャー等)	監督	選手 (補欠等含)	その他 (マネージャー等)		
1	水 泳		1	24		1	16		42	
2	陸 上	1	1	19		1	10	7	39	
3	テ ニ ス		1	10		1	7		19	
4	体 操		1	5		オープン			6	
5	バスケットボール		1	12	2	1	12	2	30	
6	ウエイトリフティング		1	10					11	
7	卓 球		1	12		1	12		26	
8	軟 式 野 球		1	19					20	
9	相 撲		1	9					10	
10	ハ`ト`ミントン	1		8			8		17	
11	弓 道		1	12		1	8		22	
12	ラグビーフットボール		1	25					26	
13	自 転 車		1	15			2		18	
14	ソフトテニス	1	男子14名、女子4名、補欠6名(補欠は男女不問)						25	
15	柔 道		1	8		1	5		15	
16	剣 道		1	9					10	
17	山 岳	1		5			5		11	
18	サ ッ カ ー		1	18	5				24	
19	ソフトホ`ール		1	18	1	1	18	1	40	
	ソフトホ`ール(議員)		監督1名、コーチ1名、選手18名 ※公開競技						20	
20	ハ`レーホ`ール		1	15	2	1	15	2	36	
21	ハント`ホ`ール		1	15	2	1	15	2	36	
22	ライフル射撃		1	5			4		10	
23	クレー射撃		監督1名、選手(トラップ3名、スキート3名)						7	
24	銃 剣 道		監督1名、選手5名、補欠3名						9	
25	ホ`ウリンク`		監督1名、選手11名						12	
26	セ`ーリンク`	1	1	12		1	5		20	
27	空 手 道	1		9			4		14	
28	ア`ーチェリー		監督1名、選手9名						10	
29	ス キ ー		1	5		1	4		11	
30	ケ`ートホ`ール		1	7	1(専任審判)	1	7	1(専任審判)	18	
31	ゴ ル フ		1	11					12	
32	レスリング`		1	5					6	
33	カ ヌ ー	1		8			5		14	
34	な ぎ な た		監督1名、選手6名、補欠2名						9	
35	フェンシング`		1	5		1	5		12	
36	グラウンド`ゴルフ		監督1名、選手8名以内						9	
37	綱 引		男子・女子各12名(監督1名、トレーナー1名、選手10名) 男女混合12名(監督1名、トレーナー1名、男子選手5名、女子選手5名)						36	
38	ボ ー ト	公開競技	監督1名、選手8名						9	
39	ホ ッ ケ ー		1	12		1	12		26	
40	ボクシング		エントリー制限なし						/	
41	ス ケ ー ト		エントリー制限なし						/	
42	アイスホッケー		監督1名、選手20名						21	
43	馬 術		エントリー制限なし						/	

